

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認くださいのうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、製品を販売店やケンウッドのサービスセンター、営業所までお持ちになるときは、お買い上げの製品全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です。)

修理料金のしくみ (有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をオフにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、営業所にご連絡ください。

(別紙「全国サービス網」をご参照ください。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスセンター、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスセンター、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
- この期間は、通商産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(SERIAL No.)
- お買い上げ年月日
- お買い上げの販売店名
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- お客様の連絡先(お名前、住所、電話番号)

KENWOOD

RAMPAGE

MD PERSONAL STEREO SYSTEM

MDX-E7
MDX-E7LTD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。機器を正しく、安全にご使用いただくため、使用を開始する前に必ず、この取扱説明書の『安全編』をお読みにになり、十分にご理解ください。使い方の説明も、併せてよくお読みくださるよう、お願いいたします。また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

この取扱説明書は、2機種共通となっています。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIOMini
Disc

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台 3-17-9
(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、各営業所にご相談ください。

B60-3467-00 (J) (J) (C)
98/12 11 10

安全編

安全にお使いいただくために

△安全上のご注意(必ずお読みください) 3

準備編

音を出す前に

はじめに	7
本機の特長	7
接続のしかた	9
各部のなまえ	11
本体部	11
表示部	12
リモコン部	13
日付と時刻を合わせる	14
ワンタッチオペレーション機能	17

基礎編

「聴く」、「録る」の基本です

音を出してみましょう	18
基本的な使いかた	18
CDを聴く	20
MDを聴く	22
ラジオを聴く	26
他の機器を再生する	29
録音してみましょう	30
MDに録音する	30

応用編

楽しさが広がります

CDの多彩な機能	32
自分の好きな区間を決めて再生を始める (<small>ポインタ</small> <small>POINTER</small> 機能)	32
曲間を短くして録音する (<small>シームレス</small> <small>SEAMLESS</small> 録音)	35
CDやMDのいろいろな再生	36
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	36
繰り返し聴く(リピート再生)	38

便利な録音あれこれ	39
CDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット録音)	39
複数のCDの1曲目だけを録音する (ベストヒットプログラム録音)	40
MDの編集機能	41
編集機能のタイプを選ぶ	41
曲を分ける(<small>トラック</small> <small>TRACK</small> <small>ディバイド</small> <small>DIVIDE</small>)	42
曲をつなぐ(<small>トラック</small> <small>TRACK</small> <small>コンビン</small> <small>COMBINE</small>)	44
録音した曲を消す(<small>イレース</small> <small>ERASE</small>)	46
曲順を1曲ずつ入れ換える(<small>トラック</small> <small>TRACK</small> <small>ムーブ</small> <small>MOVE</small>)	48
曲順をまとめて入れ換える(<small>クイック</small> <small>QUICK</small> <small>ムーブ</small> <small>MOVE</small>)	50
ミニディスクや曲にタイトルを付ける	52
タイトルを変更、消去する	54
タイマーを使う	56
音楽で目覚める	56
タイマーでラジオを録音する	58
音楽を聴きながら眠る(<small>スリープ</small> <small>SLEEP</small> 機能)	60

知識編

知っていると何かと便利です

知っておきましょう	61
ディスクの取り扱いかた	61
参考	62
メンテナンス	62
故障と思われる症状ですが・・・	65
放送局名リスト	69
索引	70
定格	71
保証とアフターサービス(必ずお読みください)	72



安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



使用禁止

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

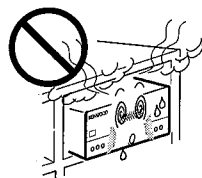
●修理をご依頼ください。



放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。

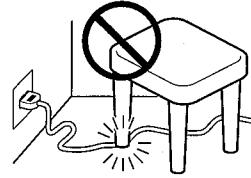
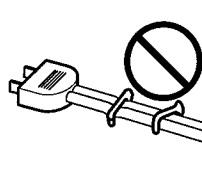
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステープルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしな。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



異常かな？と思ったら

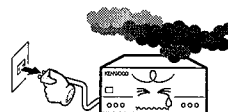
煙が出たり、変な臭いや音がある場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け

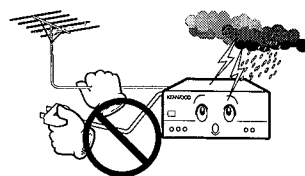


雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》

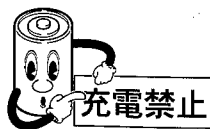


接触禁止



乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



水ぬれ禁止



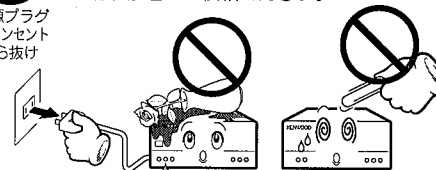
電源プラグをコンセントから抜け

機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



落下した機器は使わない

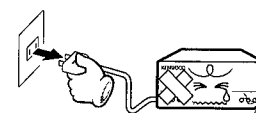
落したり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



分解禁止

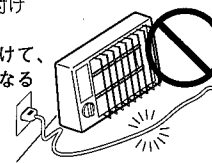


注意

電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

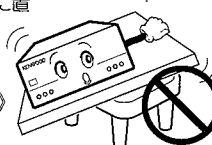
- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

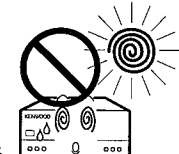
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を開けきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



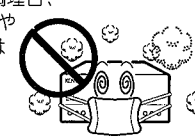
湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



水ぬれ禁止



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜け



音量に気をつけて

はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けると、聴力障害の原因になることがあります》



電源プラグ
をコンセント
から抜け



お手入れの際は

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》
3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったら長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

お子様にご注意

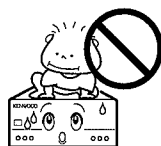
お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



指をはさまれないよう
注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。
《電池を飲み込むおそれがあります》



電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"&マイナス"-")の向きに注意し、表示通りに入れてください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



電源プラグの抜き差しは



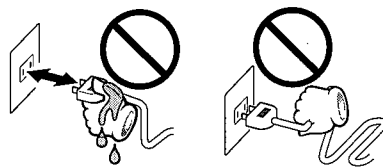
ぬれ手
禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

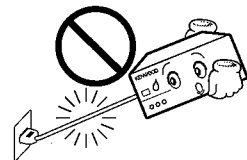


機器を移動させる際は



電源プラグ
をコンセント
から抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



電源プラグは清潔に



1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。

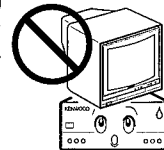
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



本機の特長

ミニディスク

MDレコーダーを標準装備

→ [22]

デジタルならではの高音質を実現するMDレコーダーを標準装備しています。CDからのデジタルコピーもカンタンにできます。ディスクや曲に名前を登録してディスプレイに表示することや、曲順の並べ換えなどの、多彩な機能が自慢です。

CD から MD ヘワンタッチ録音

→ [39]

ワンタッチエディット録音 : CD (1 枚) の全曲またはお好きな曲を、ワンタッチでMDへの録音ができます。
ベストヒットプログラム録音 : シングルCDなどの1 曲目だけを次々に録音していく機能です。録音中でも他の2 枚のCDを取り替えることができるので、MDがいっぱいになるまで続けて録音できます。

別売サイバータイトラー (CT-G90) 接続対応 (MDX-E7LTDのみ)

別売のサイバータイトラー (CT-G90) を接続できる端子を装備しています。サイバータイトラーを使うと、MDのタイトル入力、JIS規格配列のキーボードにより、簡単に入力できます。また、入力した文字をプリントアウトしてケースに貼ることにより、オリジナルソフトを作ることができます。

録音日時自動記録機能

→ [14] → [25]

日付と時刻を合わせておくと、録音した日時が自動的にMDに記録されます。

3枚 CD チェンジャー搭載

→ [20]

この小さなボディに、CDが3 枚も収容できます。また、1 枚のCDを再生/録音をしているときに、他の2 枚のCDトレイにディスクを入れることや、入っているCDを取り替えることもできます。他にも多彩な再生/録音機能が充実して、使いやすさもアップしました。

CD の多彩な機能

→ [32]

ポインター
POINTER機能 : 1曲の中のお好みの場所をダイレクトに再生する機能です。
曲のサビの部分だけを再生したり、録音するときに便利な機能です。
シームレス
SEAMLESS機能 : CDをMDへ録音するのに最適な機能です。曲間の無音部分をなるべく短くしていくので、音の流れの続くディスクが作れます。

エリア別FM放送局名自動表示機能

→ [28]

都道府県名を登録すると、その地域で受信可能なFM放送局の周波数と局名を自動的に設定します。FM放送を受信しているときには、表示部にその放送局名が表示されます。

カンタン操作のタイマー

→ [56]

目覚ましタイマー機能 : お好みのCDやMD、放送局で目覚ましタイマーをセットすることができます。
タイマー録音機能 : お出かけなどに、ラジオを録音しておくことができます。
スリープ機能 : 設定した時間を過ぎると自動的にパワーがオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、お休みになりたいときに便利です。

ご注意

本機は電源コードのみで使用できます。乾電池ではお使いになれません。また、電源コードを抜いた場合は、日付や時刻の記憶内容が約14時間で、またCD、ラジオ、タイマーなどの記憶内容が約3日間で消えてしまいますので、再びお使いになるときはそれぞれ設定しなおしてください。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ(1個)



リモートコントロール
ユニット(1個)



AMループアンテナ
スタンド(1個)



リモコン用単3乾電池
(R6/SUM-3) (2本)



電源コード(1本)



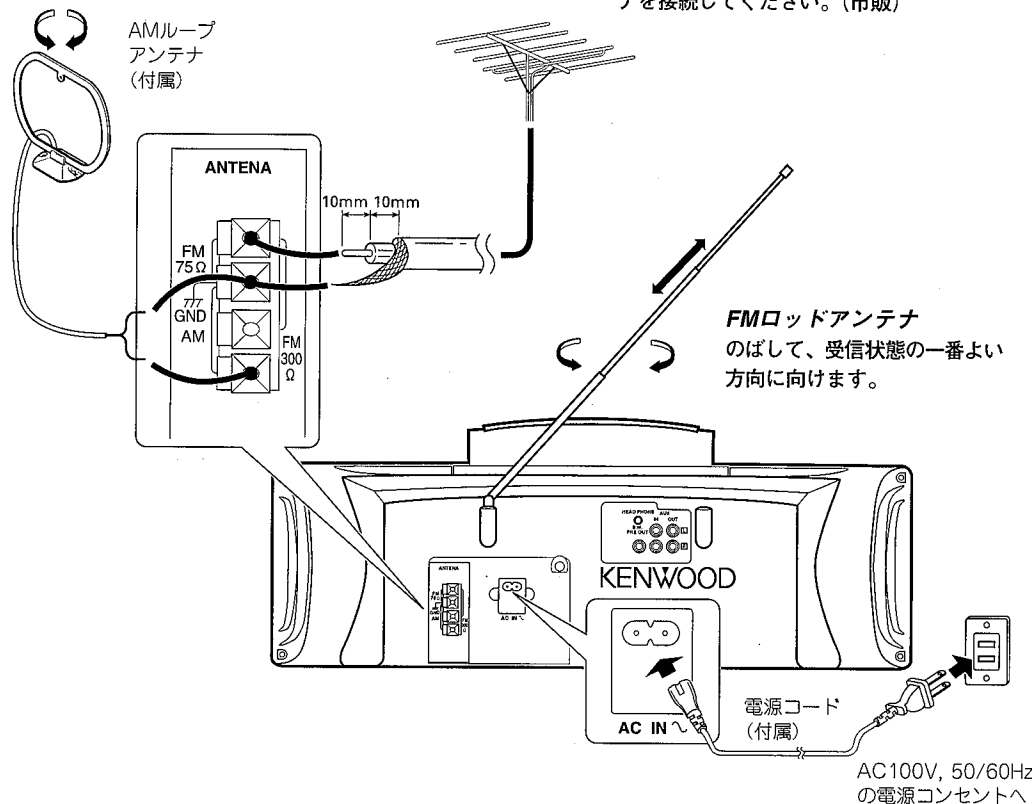
接続のしかた

⚠ 注意 接続のご注意

接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
機器の接続は、図のように行なってください。

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



⚠ 注意 アンテナに注意

持ち運びするときは、FM アンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。

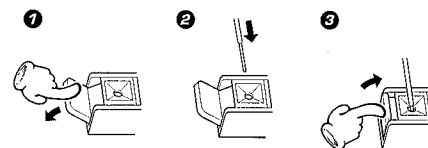
FM屋外アンテナ

受信状態が悪い場合は、FM屋外アンテナを接続してください。(市販)

FMロッドアンテナ

のはして、受信状態の一番よい方向に向けます。

アンテナの差し込みかた

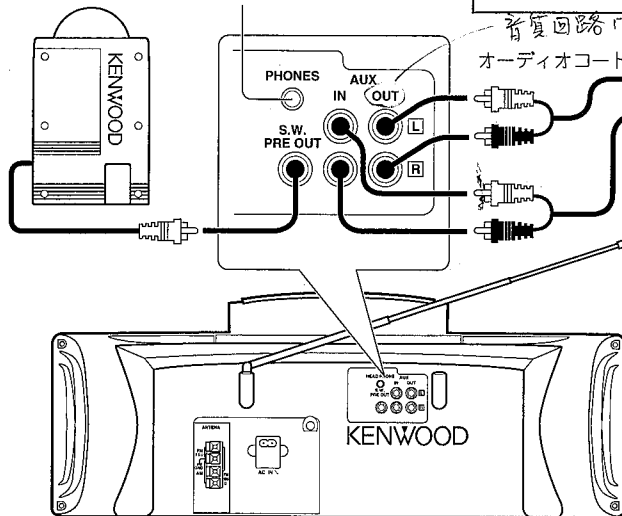


⚠ 注意 屋外アンテナ設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要です。販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

オプション(別売品)の接続

スーパーウーファー
(SW-10)
重低音を力強く再生します。



マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが…」を参照してマイコンをリセットしてください。

→ 65



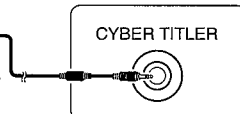
オーディオコード
オーディオ入力
オーディオ出力
CDプレーヤー、カセットデッキ、テレビなど

サイバータイ틀ー
(CT-G90)

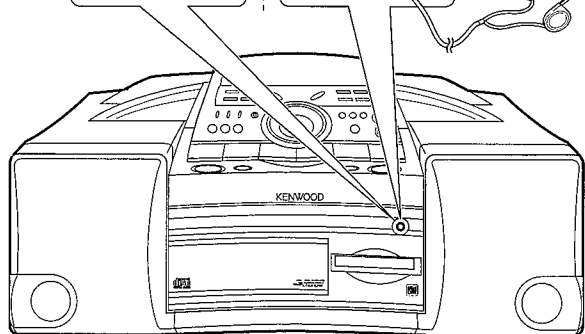
CT-G90専用通信ケーブル
(CT-G90に付属)

サイバータイ틀ー(別売)との接続
ケーブルについて

サイバータイ틀ー(別売)との接続には、必ずサイバータイ틀ー(別売)付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものをご使用になると正しく動作しません。
また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器へ電波障害を与えることがあります。

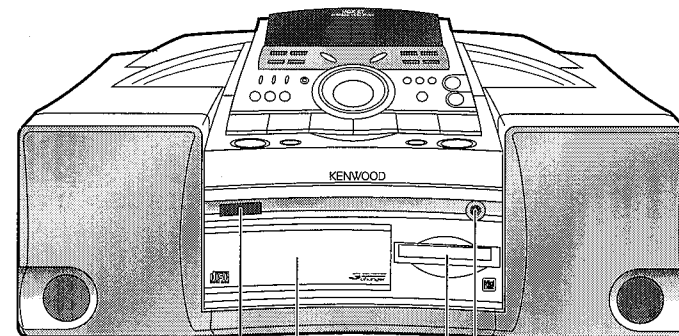
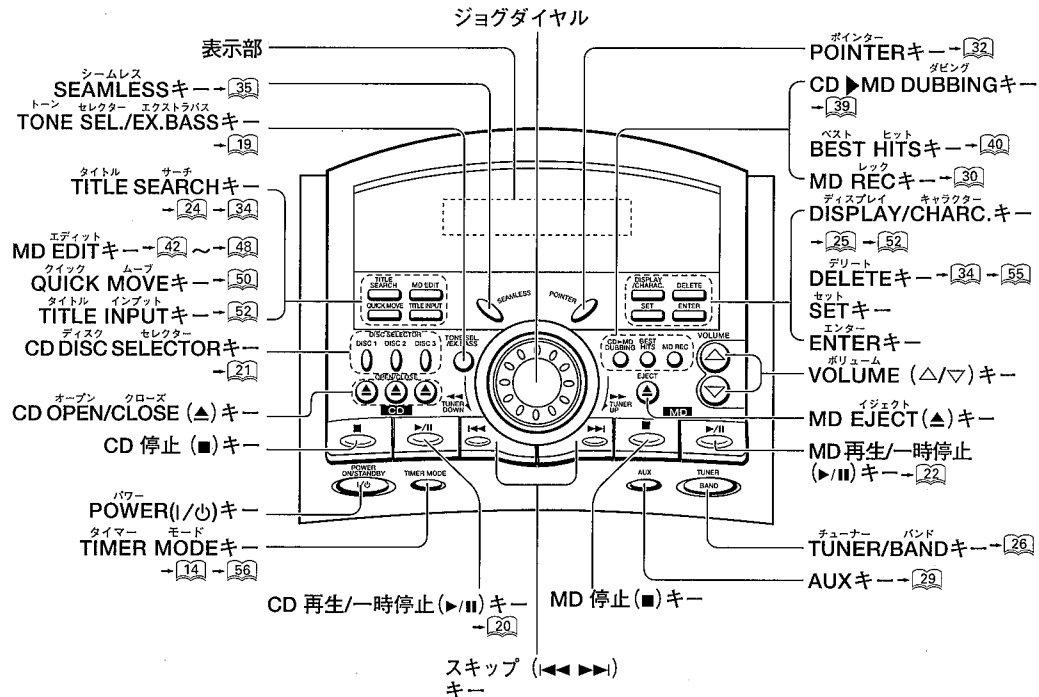
サイバータイ틀ー
CYBER TITLER接続端子
(MDX-E7LTDのみ)PHONES端子(ヘッドホン接続端子;
MDX-E7のみ)

MDX-E7LTDの
ヘッドホン端子は
背面にあります。



各部のなまえ

本体部



CD ディスクトレイ
リモコン受光部
ミニディスク挿入口
サイバータイ틀ー
CYBER TITLER 端子 (MDX-E7LTDのみ) → 10
PHONES 端子 (MDX-E7のみ) → 10

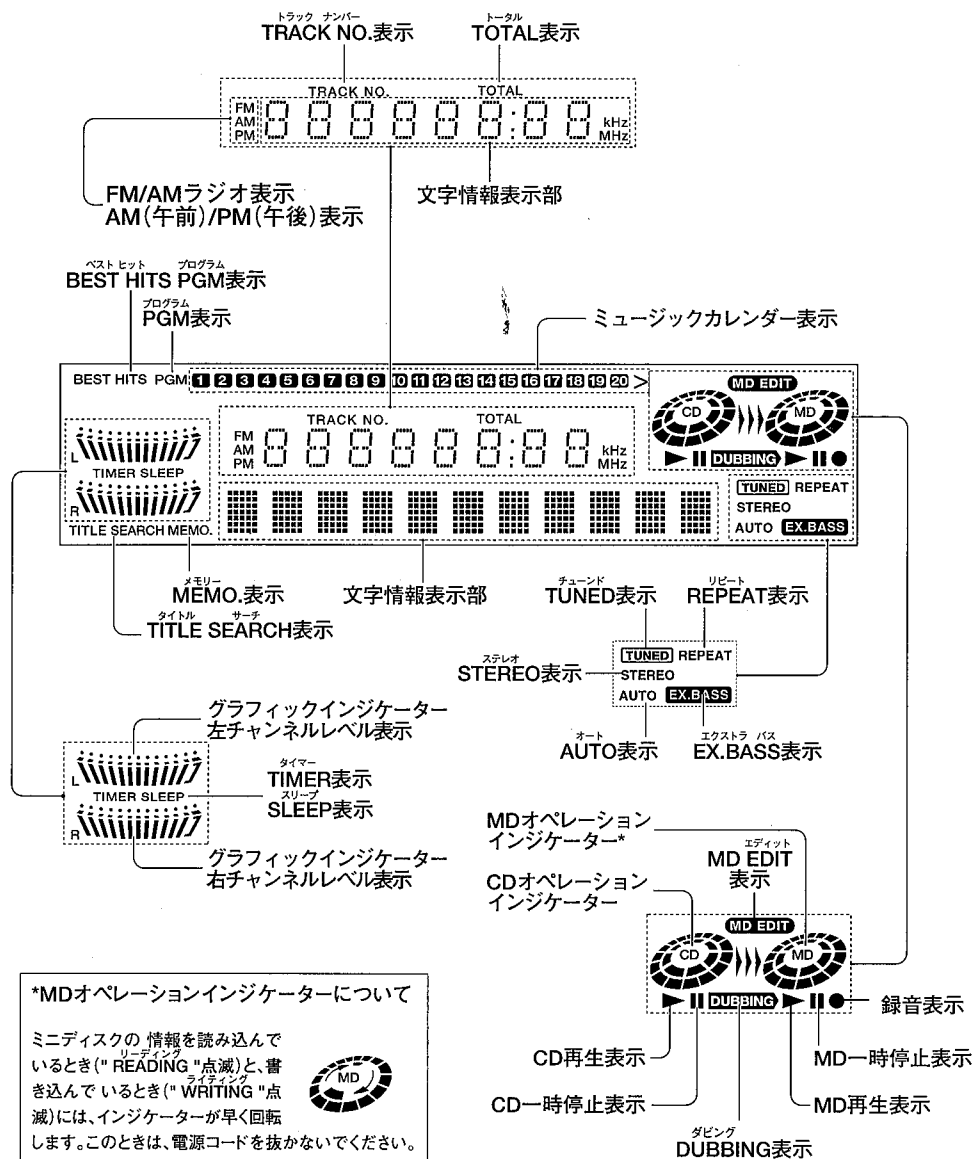
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと誤動作または破損の原因となります。



表示部

各部のなまえ

MDX-E7/MDX-E7LTD (J)



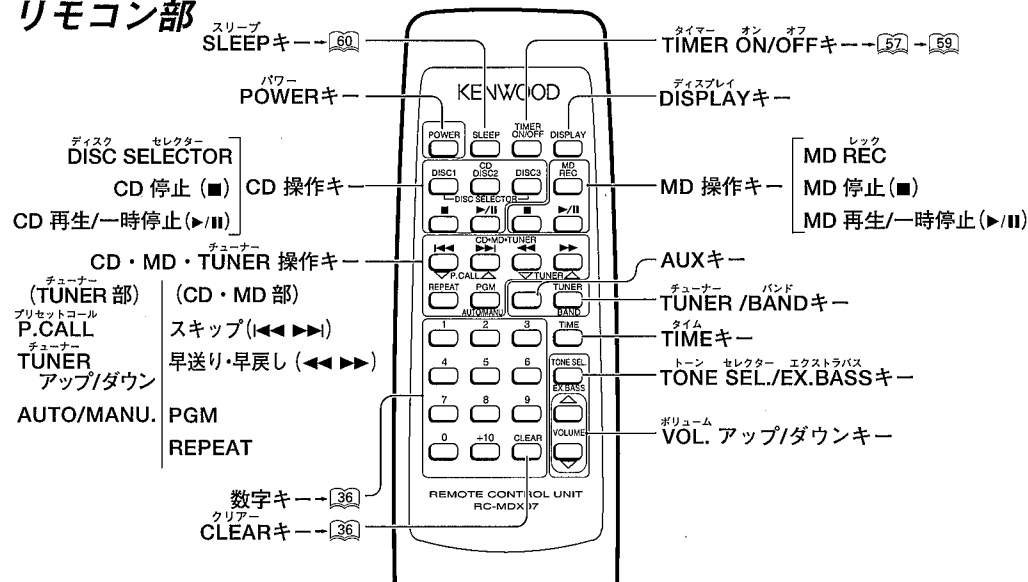
*MDオペレーションインジケータについて

ミニディスクの情報を読み込んで
いるとき("READING"点滅)と、書
き込んでいくとき("WRITING"点
滅)には、インジケータが早く回転
します。このときは、電源コードを抜かないでください。
また、録音中、再生中、編集以外でも"MD"の文字が
点滅しているときはサイバータイタラーとの通信はでき
ません。



MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

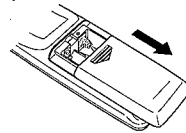
リモコン部



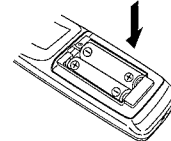
本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

電池の入れかた

① カバーを開く

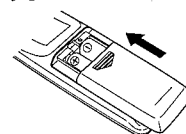


② 電池を入れる



- 単3乾電池 "R6/SUM-3" 2個を極性マークに従って入れる。

③ カバーを閉める



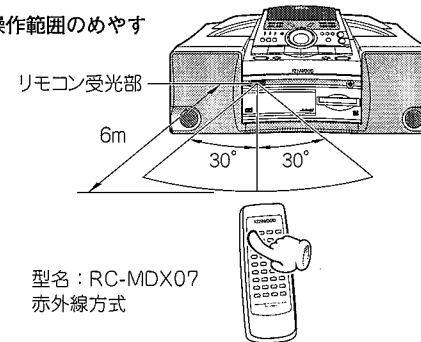
操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンのPOWERキーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

電源をオフにするときは、再度POWERキーを押します。日付表示のみ点灯するスタンバイ状態になります。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす



1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

日付けと時刻を合わせておくと、タイマーの操作や録音をしたときの録音日時記録など、本機のさまざまな機能をお楽しみいただけます。

「デモモード」について

電源がオンの状態で何も動作していないとき、**TIMER MODE**キーを約2秒間押し続けると「デモモード」になります。デモモードの時は表示部にいろいろな表示がでます。上記の操作の繰り返しで、デモモードのオン/オフが切り換わります。入力切換が**TUNER**になっているときは、デモモードになりません。

電源がオフの状態で行なってください。

1 ^{タイマー モード} **TIMER MODE** キーを押す

- 途中で20秒以上放置すると、設定中のタイマーモードが解除されます。

2 ^{クロック} ジョグダイヤルを回して、"**CLOCK SET**"が表示されるようにする

- 日付と時刻が設定されていないときは、"**CLOCK SET?**"しか選べません。

3 ^{セット} **SET** キーを2回押す

- 一度目は確認モードです。以前設定した内容がある場合はその内容が表示されます。変更する場合は、3秒以内にもう一度キーを押してください。
- 2度押すと年表示が点滅を始めます。

4 ジョグダイヤルを動かして"**年**"を選択する

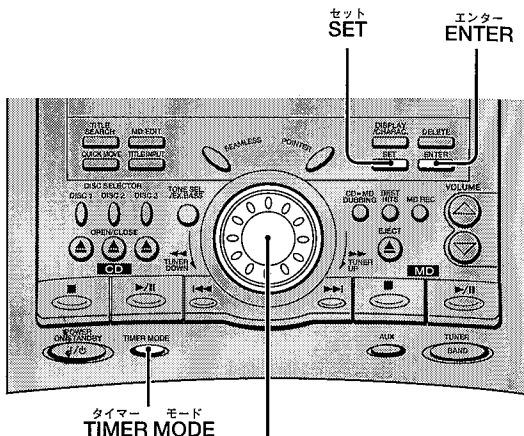
- 1997年から2040年までの中から選べます。

5 ^{セット} **SET** キーで選択した年を確定する

- 月表示が点滅を始めます。

次のページに続く

MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

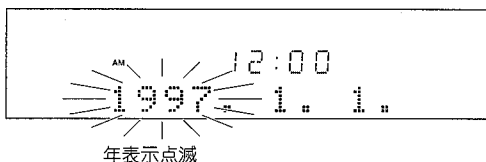


ジョグダイヤル

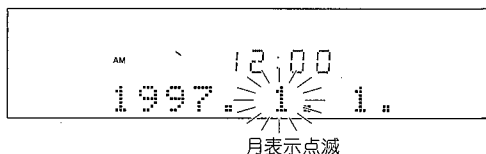
DATE DISP. ?

ジョグダイヤルを回すと次のように切り換わります。

- ① ^{タイマー プレイ} **TIMER PLAY ?** : タイマー再生
- ② ^{タイマー レック} **TIMER REC ?** : タイマー録音
- ③ ^{デイトディスプレイ} **DATE DISP. ?** : 日付表示の切り換え
- ④ ^{クロック セット} **CLOCK SET ?** : 日付と時刻あわせ



年表示点滅



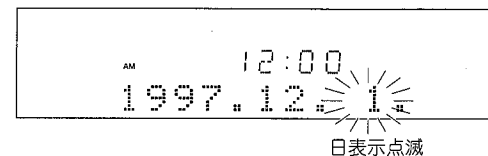
月表示点滅

MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

6 ジョグダイヤルを動かして"**月**"を選択する

7 ^{セット} **SET** キーで選択した月を確定する

- 日表示が点滅を始めます。

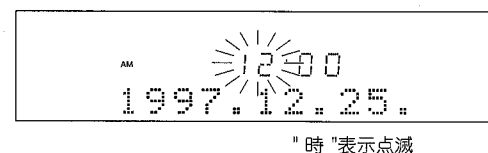


日表示点滅

8 ジョグダイヤルを回して、"**日**"を選択する

9 ^{セット} **SET** キーで選択した日を確定する

- 時表示が点滅を始めます。



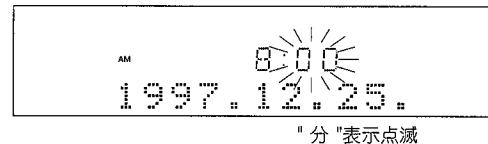
"時"表示点滅

10 ジョグダイヤルを動かして"**時**"を選択する

- 時刻は12時間表示で表示されます。

11 ^{セット} **SET** キーで選択した時を確定する

- 分表示が点滅を始めます。

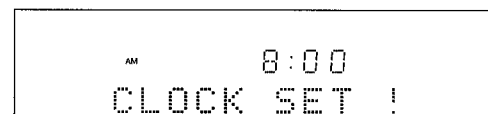


"分"表示点滅

12 ジョグダイヤルを動かして"**分**"を選択する

13 ^{エンター} **ENTER**キーを押してすべての設定を確定する

- 間違えて押したときは、最初からやり直してください。
- 時報と同時に**ENTER**キーを押すと正確な時刻表示ができます。
- "**CLOCK SET!**"を約3秒間表示して日付表示になります。



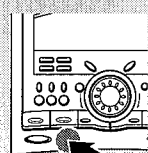
操作を途中でやめたいときは



停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたときは、約14時間で設定されていた日付や時刻が無効になります。その場合は、もう一度設定しなおしてください。

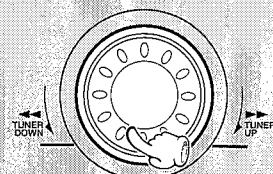
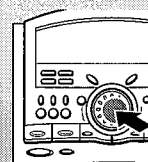
日付表示を切り換える

年・月・日の組み合わせと月・日・曜日の組み合わせの2種類表示のしかたがあります。好きな方を選んでください。

① タイマー モード
TIMER MODE キーを押す

TIMER MODE

② ジョグダイヤルで、" DATE DISP. ? " が表示されるようにする

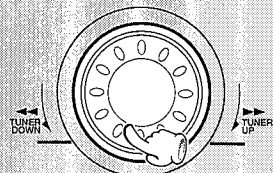
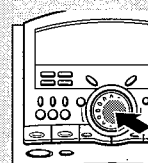


③ セット キーを2回押す



SET

④ ジョグダイヤルで、表示方法を選択する



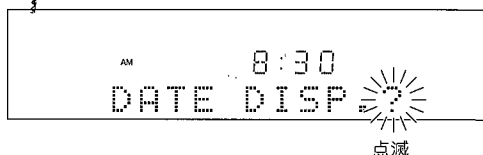
⑤ エンター キーを押す



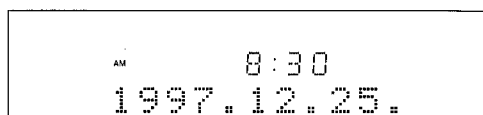
ENTER

日付と時刻合わせをしてから行なってください。
電源がオフの状態で行なってください。

- 途中で20秒以上放置すると、設定中のタイマーモードが解除されます。



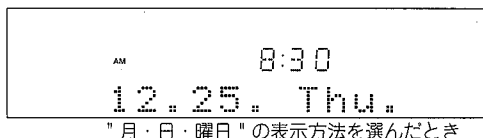
- 表示の切り換わりかた



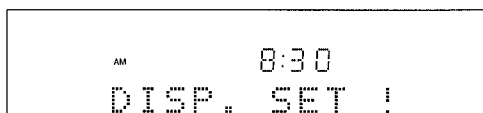
- 一度目は確認モードです。以前設定した内容が表示されます。変更する場合は、3秒以内にもう一度キーを押します。
- 2度押すと選択モードに入ります。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

1997. 12. 25. (年・月・日)
12. 25. Thu. (月・日・曜日)



"月・日・曜日" の表示方法を選んだとき



- 約3秒間で選択した表示に変わります。

ワンタッチオペレーション機能

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。

ワンタッチオペレーションが出来るキーを押すと...

電源がオフの時でも電源が入り、そのキーの動作をスタートします。

(例)

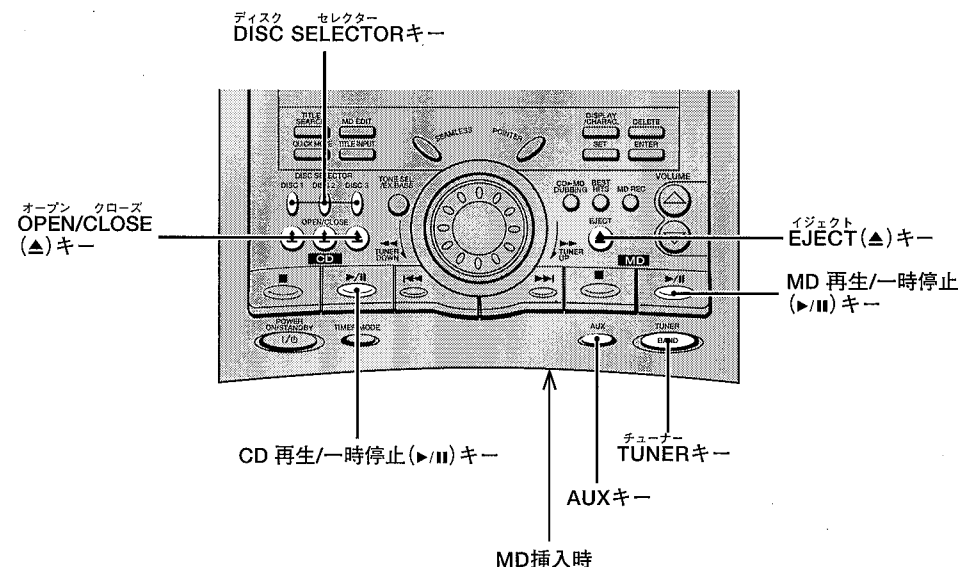
CD 再生/一時停止 (▶/||) キーを押すと

- ① 電源がオフの時は電源が入り
- ② CDに切り換わって
- ③ 再生が始まります。

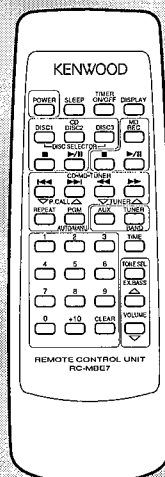


ワンタッチオペレーション出来るキー

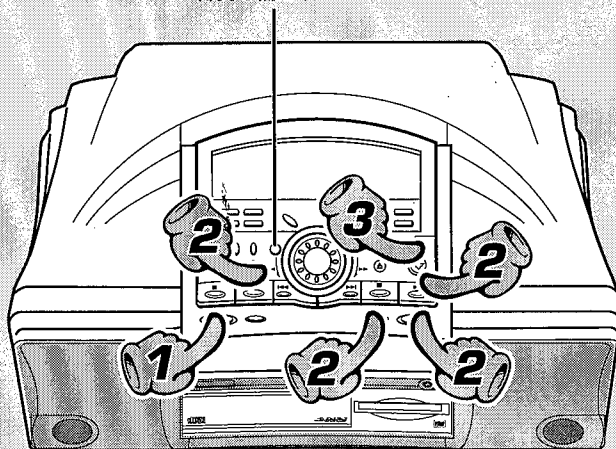
下の図のそれぞれのキーがワンタッチオペレーションできます。
リモコンでも同様の操作ができます。



基本的な使いかた



高音域と低音域の
音質を補正する



高音域と低音域の音質を補正する

① 調節したい音域を選ぶ



BASSを選んだとき

押すたびに表示が切り換わります。

BASS(バス).....低音域を補正
TREBLE(トレブル).....高音域を補正
EX.BASS(エクストラバス)....重低音を補正
通常表示

② 調節する



- BASS と TREBLE はそれぞれ-5から+5の範囲で調節できます。
- EX.BASSは、OFFまたは、+1から+3の範囲で調節できます。

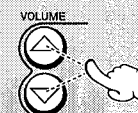
EX.BASSは、工場出荷時は+1に設定されていますので、ご使用の際、お好みに合わせて調節してください。

ヘッドホンで聴く

- ① ヘッドホンのプラグをヘッドホン端子に差し込むオプション(別売品)

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

② 音量を調節する



1. 電源をオンにする(オフにする)



電源がオンのときにPOWER
キーを押すとオフになります。

- リモコンのPOWERキーも、同じ働きをします。

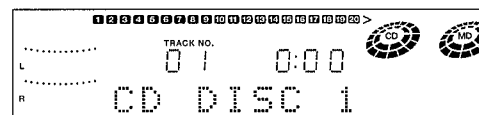
2. 聴きたいものを選ぶ

(例) CDを選ぶとき



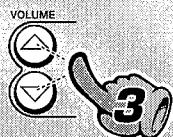
CD → 20
MD → 22
ラジオ(TUNER) → 26
他の機器(AUX) → 29

- CDやMDについては、それぞれの操作キー(再生/一時停止(▶/II)、停止(■)など)を押すとその入力切換に切り換わります。
- また、電源がオフの時、POWERキーを押さなくても、電源が入ります。(ワンタッチオペレーション機能)

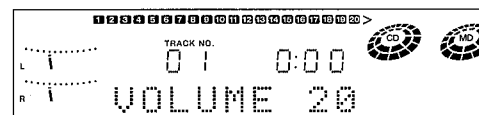


CDを選んだとき

3. 音量を調節する



- 表示部に数秒間目安の数字が表示されます。



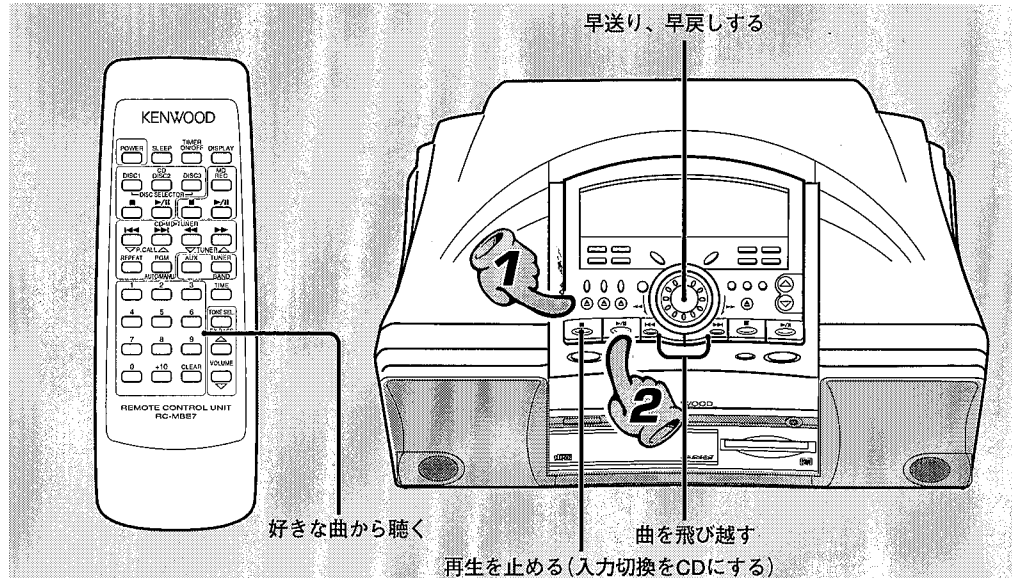
音量の表示

パワースイッチのスタンバイについて

表示部が少し暗くなり、日付表示になっている状態をスタンバイ状態といいます。このときは、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。長期間使用しない時は、電源コードを抜いておいてください。

- 電源コードを抜くときは、必ず日付表示になったことを確かめてから抜いてください。

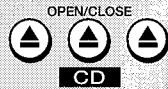
CDを聴く



好きな曲から聴く

曲を飛び越す

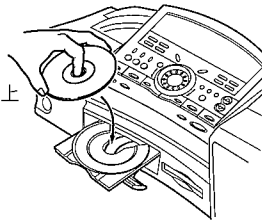
再生を止める(入力切換をCDにする)



キーを押すとトレイが開き、
もう一度押すと閉まります

1. ディスクを入れる

- ① トレイを開ける
- ② ディスクを入れる
- ③ トレイを閉める

ラベル面を上
にします

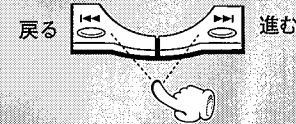
2. 再生をはじめる

もう一度CD再生/一時停止
(▶/||) キーを押すと一時停止
状態になります。

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換
わります。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあ
ります。

曲を飛び越す(スキップ)



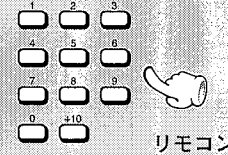
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。

好きな曲から聴く

ディスクを選ぶ

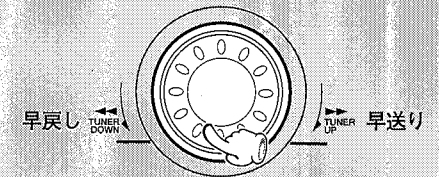


曲を選ぶ



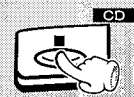
数字キーを押す順序は
4曲目なら ... **4**
20曲目なら ... **+10** **+10** **0**

早送り・早戻しする(サーチ)



- ジョグダイヤルを回す早さで、早送り・早戻しの速度を
調節することはできません。
- 一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止に
なります。

再生を止める(入力切換をCDにする)



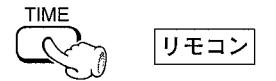
入力切換をCDにする



- CD再生/一時停止(▶/||)キーやDISC SELECTORキー
でも入力切換がCDになります。

CD再生中の時間表示について

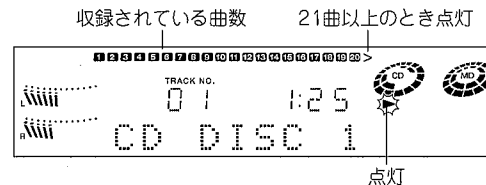
TIME
TIMEキーを押すたびに、ディスプレイの表示が切
り換わります。



- | | | |
|---|--------|-------------|
| ① | 1:23 | 再生中の曲の経過時間 |
| ② | -2:37 | 再生中の曲の残り時間 |
| ③ | 23:45 | ディスク全体の経過時間 |
| ④ | -36:15 | ディスク全体の残り時間 |

- プログラムモード("PGM"表示点灯中)では、再生中の曲
の表示のみです。

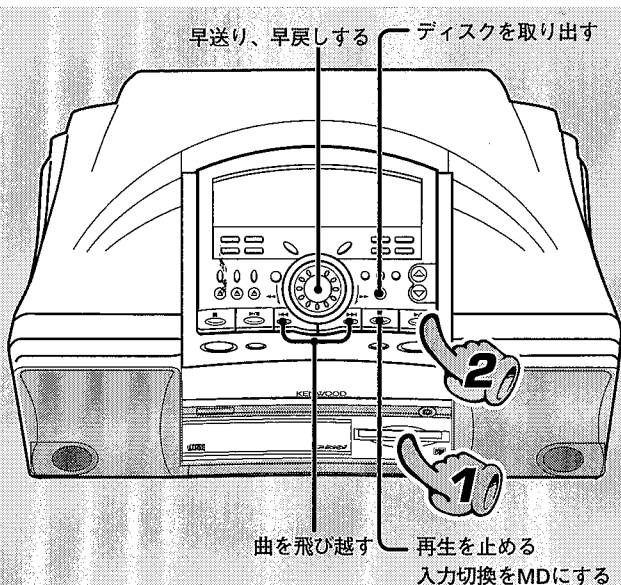
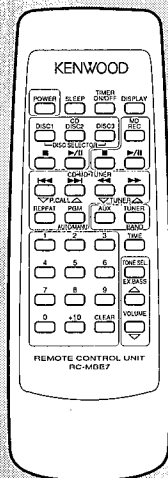
- ディスクが入っていると、DISC SELECTORキーが点灯
します。
- ディスクの再生面には、触れないようにします。
- ディスクを一度に重ねて2枚以上入れると、故障の原因
になります。
- ディスクはトレイの溝に合わせ、正しく置いてくださ
い。ディスクを斜めに置くと、故障の原因になります。



ディスク取扱上のご注意

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのシールなど
の、糊がはみ出したり、剥がした跡のあるものはお使い
にならないでください。そのまま再生すると、ディスク
が取り出せなくなったり、故障する原因となることがあり
ます。

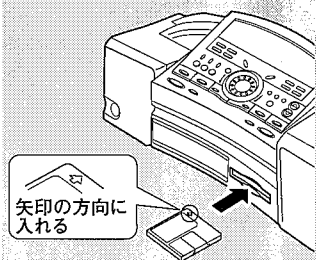
MDを聴く



早送り、早戻しする ディスクを取り出す

曲を飛び越す 再生を止める
入力切換をMDにする

1. ミニディスクを入れる

ミニディスクを本機の挿入部に
確実に差し込んでください。

- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、数秒後にタイトルを表示します。(MD以外を操作中はタイトルは出ません。)

2. 再生をはじめる

1曲目から聴く場合

- 数秒後に、1曲目から再生します。
- 再生中は、各曲のトラックタイトルを表示します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

好きな曲から聴く場合

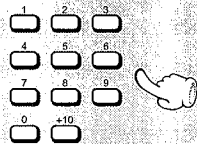
数字キーを押す順序は
40曲目なら.....

+10 +10 +10 +10 0

105曲目なら.....

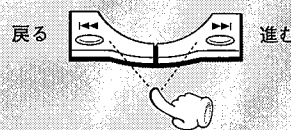
+10 を10回押して 5 を1回押す

リモコン



MDの録音中は、CT-G90(サイバータイター;別売)との通信はできません。(MDX-E7LTDのみ)

曲を飛び越す(スキップ)



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを押すと、その曲の最初に戻ります。(再生開始後約1秒以内に押すと、前の曲の最初に戻ります。)

ディスクを取り出す

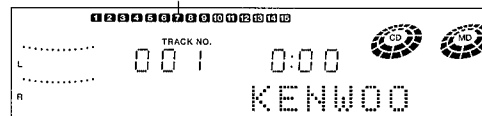


- ディスク挿入口に、ミニディスクが出てきます。

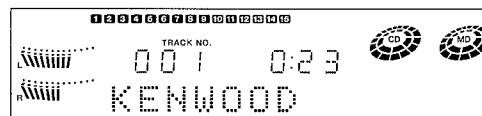
表示が変わります



収録曲数

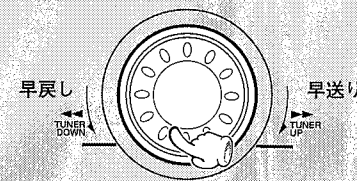


ディスクタイトルが流れる



ディスクタイトル表示

早送り、早戻しする(サーチ)



- ジョグダイヤルを回す早さで、早送り・早戻しの速度を調節することはできません。
- 一時停止中にサーチした場合、サーチ先で一時停止になります。
- 早送り・早戻しの操作中に音がとぎれることがあります。故障ではありません。

再生を止める



入力切換をMDにする



- MD再生/一時停止(▶/II)キーでも入力切換がMDになります。

⚠ 注意 レーザー光源をのぞかない

レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。

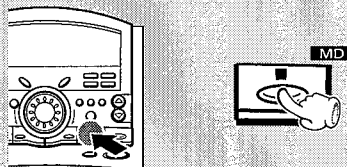
モノラル長時間録音されたミニディスクについて

本機は、モノラル長時間モードで録音されたディスクも再生できます。モノラル長時間モードの場合、同じ記録時間の内容がステレオモード時の約半分のデータ量となるため、再生時間(記録時間)はステレオモード時の約2倍(最大148分)になります。

- 本機ではモノラル長時間モードの録音はできません。

聴きたい曲をタイトルで探す (タイトルサーチ)

- ① 停止状態にして、入力切換をMDにする



- ② プログラム "PGM" 表示を消灯させる
(消えているときは手順③へ)

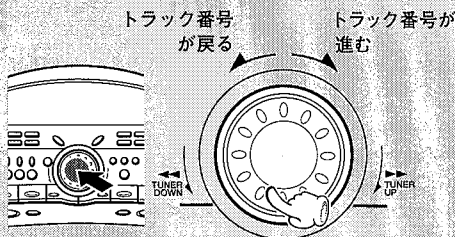


- ③ TITLE SEARCHキーを押す



中止するときは、もう一度TITLE SEARCHキーを押します

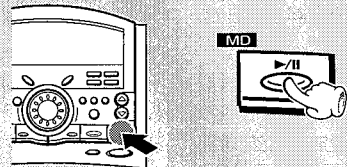
- ④ 聴きたい曲名(タイトル)を選ぶ



トラック番号
が戻る

トラック番号が
進む

- ⑤ 再生を始める



- 録音用ミニディスクの場合、ディスクに収録されている曲のタイトルをあらかじめ入力しておく、聴きたい曲をタイトルで探すことができます。
(ミニディスクや曲にタイトルをつける→[32])
- 再生中はタイトルサーチはできません。



消灯させる



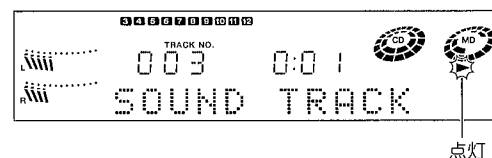
曲のタイトル

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と "● NO TITLE ●" が表示されます。

トラック番号点滅



再生される曲のタイトル



点灯

TIME キーについて

MDの時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

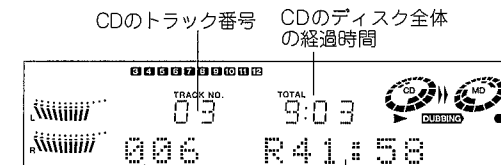
再生中/停止中

- | | | |
|---|--------------|-------------------|
| ① | 1:23 | 再生中の曲の経過時間 |
| ② | - 2:37 | 再生中の曲の残り時間 |
| ③ | TOTAL 2:45 | ミニディスク全体の経過時間 |
| ④ | TOTAL - 3:15 | ミニディスク内の録音内容の残り時間 |

- 1曲も録音されていない場合、"BLANK DISC"と表示されます。

CD ▶ MD 録音中

- ① 曲番号とミニディスク全体の録音可能残り時間



MDのトラック番号 MDの録音可能残り時間

- ② 曲番号と録音中の曲の経過時間

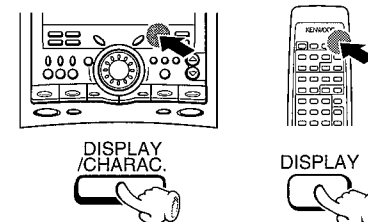


MDのトラック番号 MDの録音中のトラックの経過時間

- 5秒間放置すると①に戻ります。

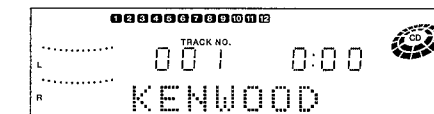
DISPLAY キーについて

MDのタイトル表示(ディスク名、曲名)のタイプを切り換えることができます。

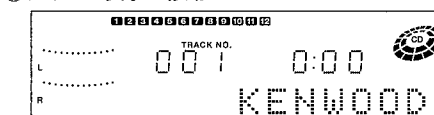


再生中、停止中
押すたびに切り換わります。

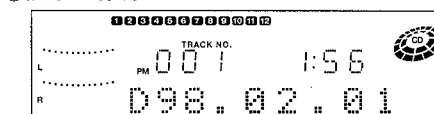
- ① タイトル表示



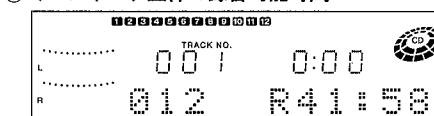
- ② タイトル表示の移動



- ③ 記録日時表示



- ④ ミニディスク全体の録音可能時間

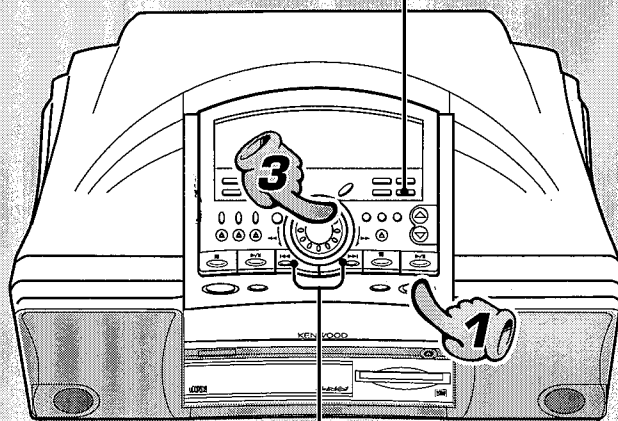
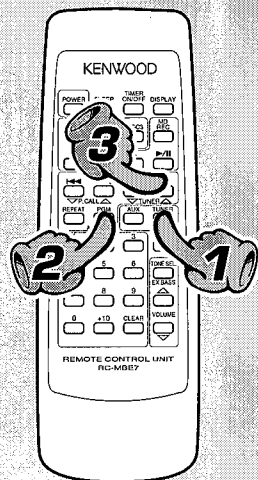


- タイトルが登録されていない場合は、"● NO TITLE ●"と表示します。
- 記録日時が登録されていない場合、③記録日時表示は、"D---.---.---"と表示されます。
- 5秒間放置すると①に戻ります。
- 入力切換がMD以外の場合は④ミニディスク全体の録音可能時間表示のみとなります。

ラジオを聴く

放送局を最大40局まで記憶させ、ワンタッチで受信できます。

放送局を一つずつ記憶させる



プリセットコール



1. 放送バンドを選ぶ

押すたびに切り換わります。

- ① FM
- ② AM



2. 選局方法を選ぶ

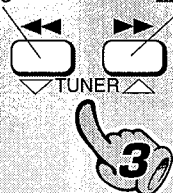
押すたびに切り換わります。

- ① "AUTO" 点灯:
オート(自動)選局
- ② 消灯:
マニュアル選局

- 電波が弱く、雑音が多いときはマニュアル選局にしてください。(マニュアル選局のとき、ステレオ放送はモノラル受信となります。)
- 通常はAUTO(オート選局)にしておきます。

周波数が
下がる

周波数が
上がる



3. 放送局を選ぶ

オート選局のとき:

押すたびに次の放送局を受信します。

マニュアル選局のとき:

聞きたい放送局の周波数になるまで押し続けます。

- ジョグダイヤルを使用する場合は、マニュアル選曲になります。

放送局を一つずつ記憶させる(マニュアルプリセット)

- ① 記憶したい放送局を受信中にENTERキーを押す
途中で5秒以上放置すると、
プリセットは中止されます。



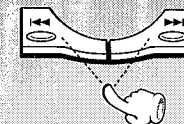
プリセット番号点滅



メモリー
"MEMO."点灯

- ② 1~40の"プリセット番号"を選ぶ

途中で5秒以上放置する
と、プリセットは中止
されます。



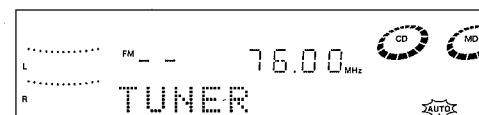
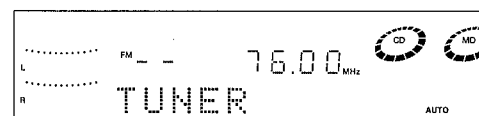
- ③ もう一度 ENTER キーを押す

- プリセットを続けるときは、手
順②③を繰り返します。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、
新しい設定内容に変更されます。

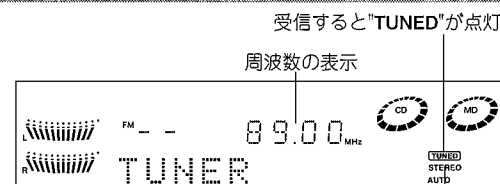


⚠ 注意 雷に注意

屋外で使用していて、雷が鳴り出したら、すぐにFM
ロッドアンテナをたんで使用を中止し、機器から離れ
てください。落雷の原因となります。



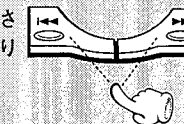
点灯



ステレオ受信時に点灯

- ④ 記憶した放送局を受信する(プリセットコール)

キーを押すたびに、記憶さ
れている放送局が順に切り
換わります。



▶▶を押すと...

01 → 02 → 03 38 → 39 → 40 → 01

◀◀を押すと...

40 → 39 → 38 03 → 02 → 01 → 40

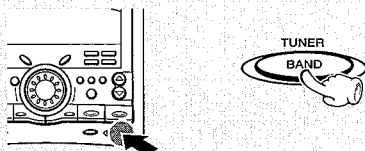
- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。

放送局をオートプリセットする (エリア別 FM放送局名自動表示)

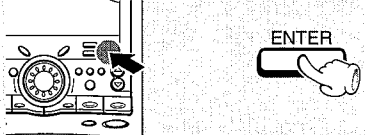
お住まいの地域で受信できる放送局を自動的にプリセットすることができます。このとき都道府県名を登録しておく、放送受信時に放送局名が表示されます。(FM 放送のみ 放送局名リスト 69)

受信状態が良くなるようにアンテナをセットしておきます。

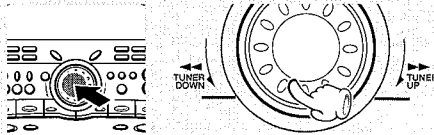
① 入力切換をTUNER にする



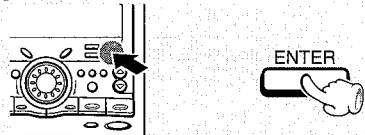
② ENTER キーを2秒以上押す



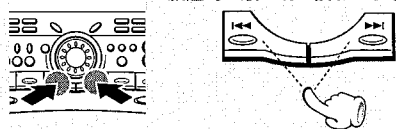
③ ジョグダイヤルでお住まいの都道府県名を選択する



④ ENTER キーを押してオートプリセットを開始する



⑤ 記憶した放送局を受信する (プリセットコール) キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

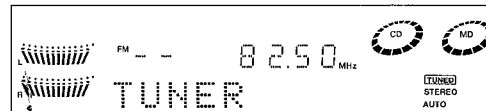


希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、SET キーを押すと放送局名を変えることができます。

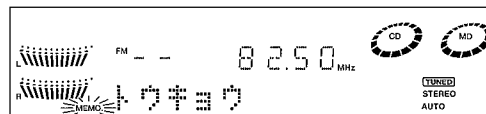


オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大40局まで登録します。放送局名表示は放送局名リストに載っているFM放送局のみに対応しています。



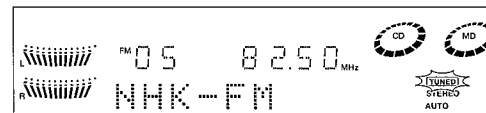
東京でNHK-FM(82.5MHz)を受信しているとき

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を登録していない場合は、"ケンメイ ミセッテイ" と表示されます。



トウキョウを選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県を選んだら、5秒以内に手順④へ進んでください。
- 都道府県名を登録したときは、69ページの放送局名リストに従ってオートプリセットされます。リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。

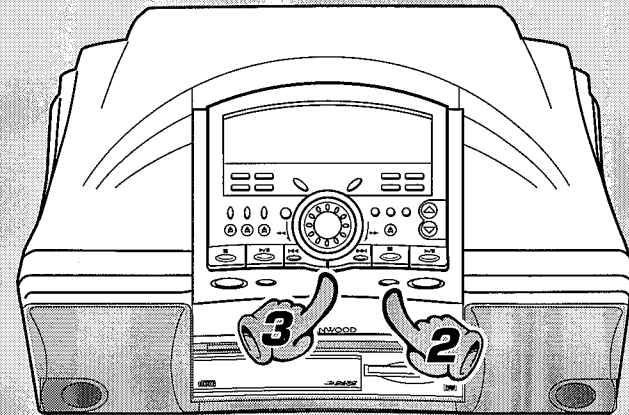
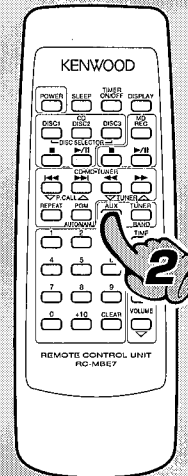


FM受信中は放送局名が表示されます

- 受信中の周波数の放送局名が登録されていない場合、および"CHORD" が点灯していない場合は、放送局名は表示しません。
- 押したままにすると、約0.5秒間隔で放送局をスキップします。
- 都道府県名を登録していない場合でも、受信可能な放送局を最大40局まで自動的にプリセットします。ただし、放送局名は表示されません。

他の機器を再生する

背面のAUX端子にカセットデッキやCDプレーヤーなどを接続することができます。また、テレビやビデオを接続して、本機のスピーカーで聴くこともできます。接続した機器の入力レベルは3段階で調節することができます。



1. 他の機器を接続して、電源を入れる

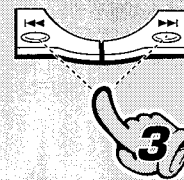
- "接続のしかた"を参照してください。→ 10

2. AUX キーを押す



3. 入力レベルを調節する

- ① つないだ機器を再生してみる
- ② AUX 表示中に、◀▶ または ▶▶ キーで、お好みの入力レベルを選ぶ



AUX の入力レベルについて

CDやMDなどの音源と比べて、同じボリューム値で音が大きすぎたり、小さすぎたり、または雑音が多かったりしたときに、入力レベルを調節してください。

次の3種類の中から選べます。

- ① INPUT LOW (インプット ロー) : 入力レベル小(音量を小さくします)
- ② INPUT MID. (インプット ミドル) : 入力レベル中(工場出荷状態)
- ③ INPUT HIGH (インプット ハイ) : 入力レベル大(音量を大きくします)

4. 再生する

入力レベルを調整した後の、音量はVOLUME キーで調節してください。

- 接続した機器の操作キーで操作してください。
- 詳しい操作については、接続した機器の取扱説明書をお読みください。

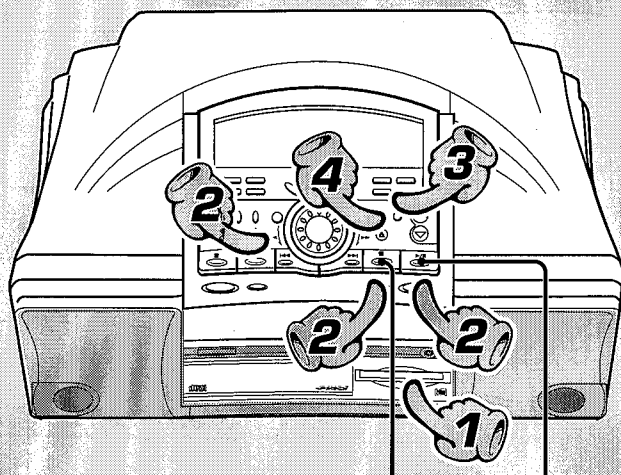
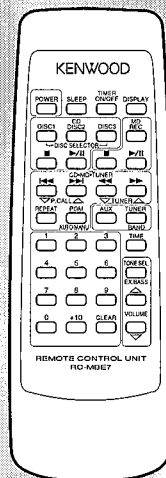
ミニディスク

MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

MDに録音する

本機では、モノラル長時間モードでの録音はできません。

MDの録音には、CDのデジタル信号がそのまま録音される"デジタル録音"と、放送局などのアナログ信号をデジタルに置き換えてから録音する"アナログ録音"があります。



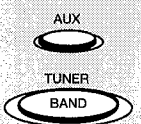
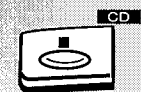
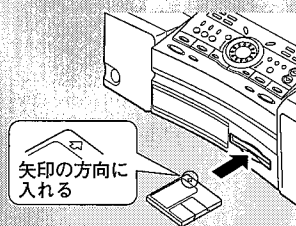
録音を停止する 録音を一時停止する

1. 録音の準備をする

- ① ミニディスクの誤消去防止
つまみが録音可能な状態であることを確認する → 61
- ② ミニディスクを入れる
- ③ 録音可能時間を確かめる → 25

006 R41:58

録音可能残り時間の表示



MD以外を選んでください

2. 何を録音するか選ぶ

録音したい入力ソースの表示にします

- 入力切換によって"デジタル録音"と"アナログ録音"が自動的に選ばれます。CDの録音以外はすべてアナログ録音です。

3. 録音をはじめる

- ① MD REC ^{レック} キーを押す
- ② 録音する音楽ソースを再生する

- 録音中はEJECT(▲)キーは受け付けません。
- CDの再生と同時に録音を始めるときは、"CDのシンクロ録音"をお読みください。 → 31

MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

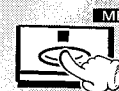
TONE SEL./EX.BASS(トーンセクター/エクストラバス)で音質を調整しても、その効果は録音されません。

録音を一時停止する



- このとき、トラック番号は"1"繰り上がります。再び録音を始めるときは、もう一度押します。
- MD REC ^{レック} キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する



MDの録音中は、CT-G90(サイバータイトラー;別売)との通信はできません。(MDX-E7LTDのみ)

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

- "DISC FULL" ^{ディスクフル} : ミニディスクが一杯になっている
→ 不要な曲を消す。 → 46
- "PROTECTED" ^{プロテクト} : 誤消去防止つまみが開いている
→ 閉める。 → 61
- "PLAY ONLY" ^{プレイ オンリー} : 再生専用ミニディスクである
→ 録音用ミニディスクを入れる → 63

録音を止めると、本機は録音や編集に関連する情報をディスクに書き込む動作に入ります。

"WRITING"表示は、ディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

4. 録音終了後、ミニディスクを取り出す

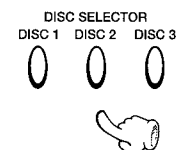
録音が終わったら、必ずディスクを取り出してください。



CDのシンクロ録音

次の手順で録音を始めると、録音(MD)と再生(CD)が同時にスタートするので、音切れの心配がありません。

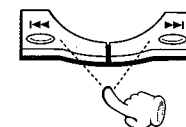
① 録音したいCDを選ぶ



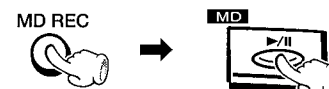
② CDを一時停止にする



- ③ 1曲目から録音する時: ◀◀キーを1回押す
お好みの曲を録音する時: ◀◀または▶▶キーで曲を選ぶ



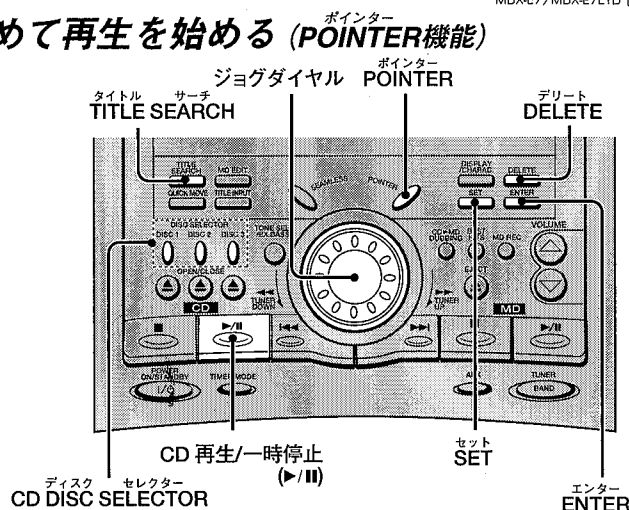
④ MDを録音一時停止にする



⑤ CDの再生を始める

自分の好きな区間を決めて再生を始める (POINTER機能)

自分の設定した再生開始場所(開始ポイント)から再生終了場所(終了ポイント)までを、ダイレクトに再生が始められる機能です。1枚のディスクのなかに8カ所までポイントを設定することができます。また、複数のディスクにわたって設定することもできます。(同じく1枚につき8カ所までです。)



開始ポイントを設定する

1 CDを再生する

- このときPGM表示が消灯していることを確認してください。

2 POINTERキーを押す

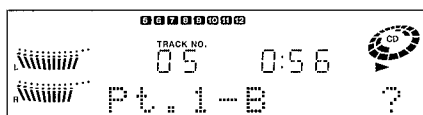
- POINTERキーが点滅します。

3 再生を始めたいポイントでSETキーを押す

- POINTERキーが高速点滅します。
- 録音中はポイントの設定はできません。

4 約3秒間のリピート再生を聴きながら、ジョグダイヤルでスタートポイントを微調整する

5 ENTERキーで再生を開始したいポイントを確定する



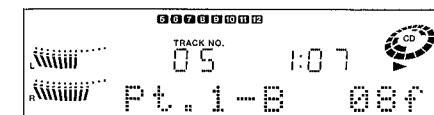
終了ポイントを設定する

6 再生区間の終わりのポイントでSETキーを押す

7 約3秒間のリピート再生を聴きながら、ジョグダイヤルで終了ポイントを微調整する

8 ENTERキーで再生を終了したいポイントを確定する

- 手順③～⑦を繰り返して、1枚のディスクにつき8カ所までポイントを設定することができます。
- すでに8つポイントが設定されているときは、8つ目のポイントが書き換えられます。



フレーム値について

CDに書き込まれている情報を整理する単位としてFRAME(フレーム)というものがあります。これは1秒を75個に区切った長さです。本機ではこのフレームを使って、より細かくポイントを調節することができます。



設定したポイントから再生を始める

1 入力切換をCDにする

- "PGM"表示は消灯させます
- 再生中でも操作できます。

2 POINTER キーを押す

- POINTERキーが点滅します。

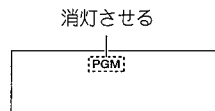
3 TITLE SEARCH キーを押す

- POINTERキーが高速点滅します。

4 ジョグダイヤルで再生したいポイントを選ぶ

5 ENTER キーを押す

- 指定したポイントから再生が始まります。
- 同じディスク上に設定したポイントが複数ある場合、次々とそのポイントを再生します。
- POINTER連続再生中にジョグダイヤルで再生ポイントを選ぶと、連続再生をやめて通常の再生となります。
- ENTERキーのかわりにCD▶MD DUBBINGキーを押すと、選んだポイントの位置から録音ができます。



ディスク 3 のポイント 4 を選んだとき



ポイントを消去するには

1 "設定したポイントから再生を始める"の手順 ④までを行なって、消したいポイントを選ぶ

2 ENTERキーで再生してみて、消したいポイントかどうか確認する

3 DELETEキーを押す

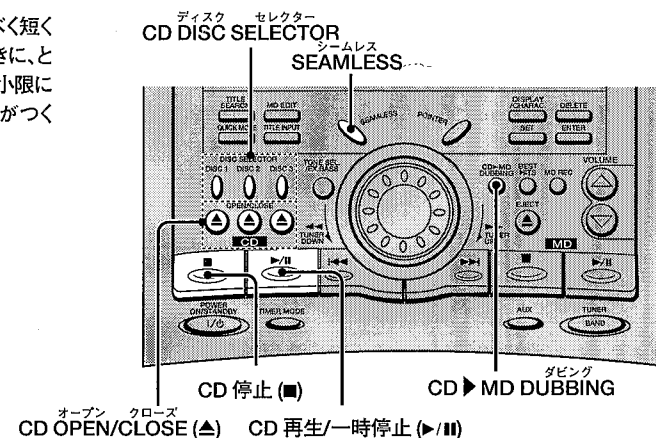
- トレイをオープンすると、オープンしたディスクのポイントが全て消去されます。
- ポイントが消去されると、残ったポイントは自動的に前につめられます。

POINTER 機能を解除するには



曲間を短くして録音する (SEAMLESS録音)

CDの曲と曲の間の無音部分をなるべく短くする機能です。この機能は録音のときに、とても便利です。曲間の無音部分を最小限に抑えるので、音の流れの続くディスクがつけられます。



入力切換を"CD"にします。

1 録音可能なMD をセットする

2 CD をセットする

3 SEAMLESS キーを押す

- SEAMLESSキーが点滅します。
- リピート再生時はSEAMLESSキーはききません。

4 DISC SELECTOR キーまたは CD 再生/一時停止キーで再生を始める

- CDによってはSEAMLESS効果が少ないものもあります。
- 曲間の短いCDなどをMDに録音すると、各曲の最後に音が切れてしまう場合があります。

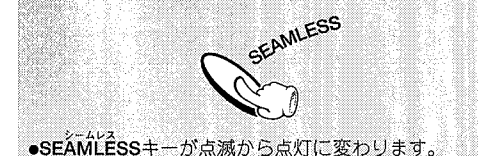
5 CD ▶ MD DUBBING キーを押す

- CD▶MD DUBBINGキーの動作について

→ 39



SEAMLESS機能を解除するには



MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

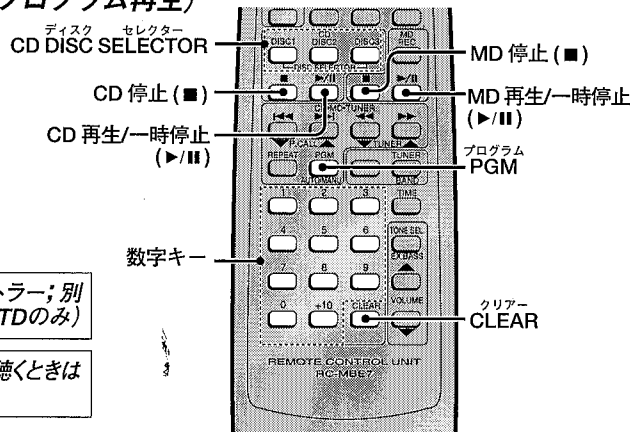
MDX-E7/MDX-E7LTD (J)

曲順を並べ替えて聴く (プログラム再生)

ディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)
また、CDの場合は複数のディスクにまたがってプログラムすることもできます。

MDの再生中は、CT-G90(サイバータイター; 別売) との通信はできません。(MDX-E7LTDのみ)

CDを聴くときはCDの操作キーを、MDを聴くときはMDの操作キーを使います。



1 入力切換をCDまたはMDにして、停止状態を確認する

- 再生中のときは、それぞれの停止 (■) キーで停止させてください。

2 プログラムキーを押して"PGM"表示を点灯させる

この後、MDの場合は手順④へ

3 DISC SELECTOR キーでディスクを選ぶ

- 8秒以内に次の手順へ進んでください。

4 数字キーで曲番号を選ぶ

- 曲番号を選んだら、8秒以内に次の手順へ進んでください。

5 プログラムキーを押して選んだ曲番号を確定する

6 手順③, ④, ⑤ (MDの場合は④と⑤のみ) を繰り返してプログラムしていく

- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから選び直します。

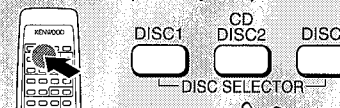
次のページへ続く

7 CDまたはMDの再生/一時停止(▶/||)キーを押して再生する

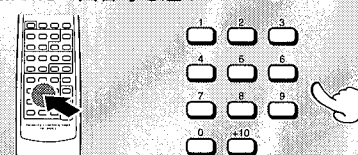
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に ◀◀ または ▶▶ キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に ◀◀ キーを一回押すと、その曲の最初に戻ります。

曲を追加するには

① ディスクを選ぶ (CDの時のみ)



② 追加したい曲番号を選ぶ



③ プログラムキーを押す



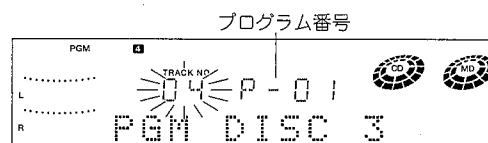
- プログラム "PGM" 表示が点灯していることを確認してください。
- MDの場合は、停止中のみ曲の追加ができます。

- 追加したい曲番号を選ぶとプログラムの最後に追加されます。

数字キーを押す順序は

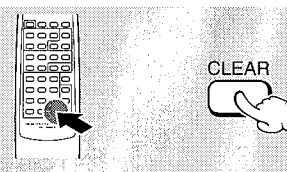
4曲目なら [4]
40曲目なら [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

CDを操作したときの表示例

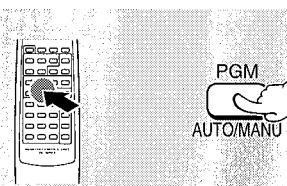


CDディスク3のトラック4(4曲目)をプログラム

プログラムした曲を取り消すには



プログラムを解除するには



- キーを押す度に、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- 再生中の曲は取り消せません。
- MDの場合は、停止中のみ曲の取り消しができます。

- 再生中は、そのとき聴いている曲から曲番号順の再生に戻ります。
- MDの場合は、停止中にプログラムキーを押してください。
- CDの場合は、OPEN/CLOSE(▲)キーを押すと、取り出されたディスクの曲のみプログラムから削除します。
- MDの場合は、EJECT(▲)キーを押しても解除します。

繰り返し聴く (リピート再生)

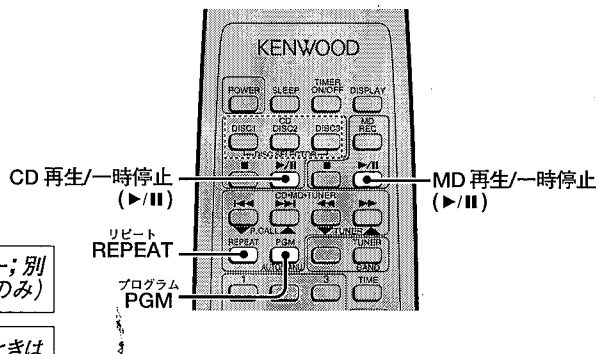
お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

MDの再生中は、CT-G90(サイバータイター; 別売)との通信はできません。(MDX-E7LTDのみ)

CDを聴くときはCDの操作キーを、MDを聴くときはMDの操作キーを使います。

すべてのディスクを繰り返し聴く

- 1** "PGM" 表示の消灯を確かめる
● "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのPGMキーで消灯させてください。
- 2** REPEAT キーを押して"REPEAT"表示を点灯させる
- 3** CDまたはMDの再生/一時停止(▶/||)キーで再生する
● CDの場合は、本機に入っているすべてのディスクのリピート再生になります。



消灯を確かめる

PGM

REPEAT 点灯

繰り返し再生をやめるには

もう一度 REPEAT キーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、もとのモードに従った再生に戻ります。



選んだ曲だけを繰り返し聴く

- 1** "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順④までを行い、聴きたい曲をプログラムする → 36
- 2** REPEAT キーを押して"REPEAT"表示を点灯させる
- 3** CDまたはMDの再生/一時停止(▶/||)キーで再生する



繰り返し再生をやめるには

もう一度 REPEAT キーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、もとのモードに従った再生に戻ります。

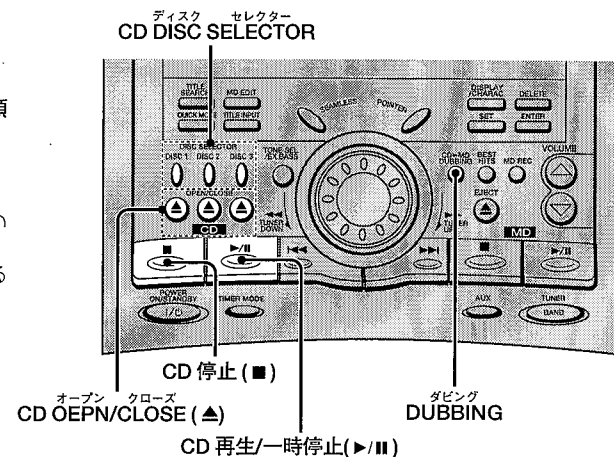
便利な録音あれこれ

CDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット録音)

CD(1枚)の全曲またはお好きな曲を、ワンタッチで録音できます。

曲順をプログラムしておけば、プログラム順に録音されます。

- "曲順を並べかえて聴く" → 36
- 録音日時は常に記録されています。(あらかじめ日付と時刻を合わせておいてください。) ディスプレイ 記録内容はDISPLAYキーで確かめることができます。 → 25



まず準備をします

- 1** 録音可能なMDをいれる
- 2** 録音したいCDをいれる

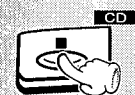


1枚のCDをワンタッチで録音する (ワンタッチエディット全曲録音)

曲順をプログラムしてある場合は、手順④へ

- 3** DISC SELECTORキーで録音したいディスクを選ぶ
●トレイが開いているときは開けてから選んでください。
●他のCDが再生中のときは停止させてから選んでください。
- 4** CDの再生が始まる前にCD ▶MD DUBBINGキーを押して録音を始める

録音を途中でやめるには



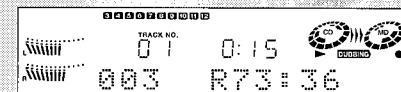
- 録音、再生ともに停止します。

いい曲があれば、その曲だけ録音する (ワンタッチエディット1曲録音)

3 CDを再生する

4 録音したい曲の再生中に、CD ▶MD DUBBING キーを押す

- 再生中の曲の最初に戻り、録音が始まります。

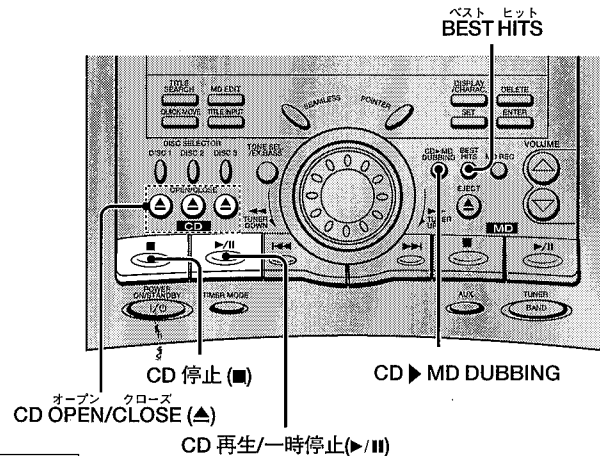


録音を止めると、本機は録音や編集に関連する情報をディスクに書き込む動作に入ります。

"WRITING"表示は、ディスクに書き込んでいることを示します。表示中には震動や衝撃を加えないでください。

複数のCDの1曲目だけを録音する (ベストヒットプログラム録音)

それぞれのCDの1曲目だけを次々に録音することができます。シングルCDなどの1曲目を録音したいときに大変便利です。また、録音中でも他の2枚のCDを取り替えることができ、さらに取り替えたCDの1曲目が自動的にプログラムに追加されるので、ミニディスクが一杯になるまで続けて録音することができます。



CD停止(■)キーを押して停止状態にしてから行います。

1 録音可能なMDを入れる

2 それぞれのトレイにCDをいれる

3 "PGM"表示が消えているのを確かめる

- 点灯しているときは、リモコンのPGMキーで消灯させてください。

4 BEST HITS キーを押す

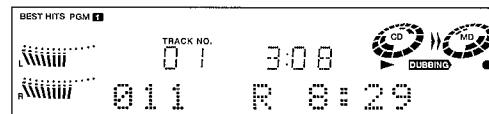
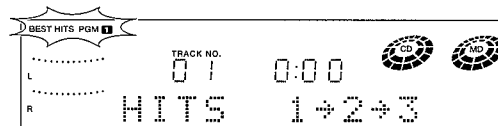
- それぞれのCDの第1曲目だけが自動的にプログラムされます。

5 CD ▶ MD DUBBING キーを押す

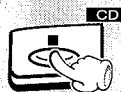
- CD ▶ MD DUBBINGキーのかわりにCDの再生/一時停止(▶/||)キーを押すと、ベストヒットプログラム再生になります。
- 録音中、BEST HITSキーを押すと、曲順の確認ができます。

6 録音が終わったCDを取り出し、別のCDをいれる

- 次のCDが録音中でも、すでに録音の終わったCDを交換することができます。
- CDを交換すると、そのディスクの1曲目がプログラムに追加されます。
- CDを交換したら、トレイを開けてください。



録音を途中でやめるには



- 録音、再生ともに停止します。

- PGMキーを押すとBEST HITS PGMモードは解除され、そのとき記憶されている曲を再生し終わった後、曲番順の再生に戻ります。

MDの編集機能

編集機能のタイプを選ぶ

市販の録音用ミニディスクは録音できるだけでなく、録音した内容を編集することができます。いろいろな編集機能を使って、自分だけのオリジナルディスクを作ってみましょう。(再生専用の一般市販ソフトのミニディスクは編集できません。)

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、ご確認くださいませう、お願いいたします。

→ 63 → 64 → 66 → 67

編集をするときは、ミニディスクの誤消去防止つまみを"録音可能"側にしてください。

→ 61

MDの編集中は、CT-G90(サイバータイター;別売)との通信はできません。(MDX-E7LTDのみ)

例：ラジオの音楽番組を録音して、編集する

手順

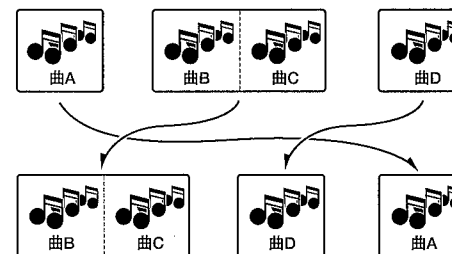
- 音楽番組を録音する。



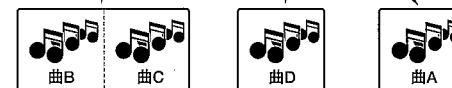
- 音楽(曲)とCMとトークを分ける。



- 不要な部分を消去したり、曲と曲をつないだりする。



- お好みの順番にならべる。



- タイトルをつける。



使う編集機能

ディバイド
DIVIDE 機能

→ 42

コンバイン
COMBINE 機能
イレース
ERASE 機能

→ 44

→ 46

ムーブ
MOVE 機能
クイック
QUICK MOVE 機能

→ 48

→ 50

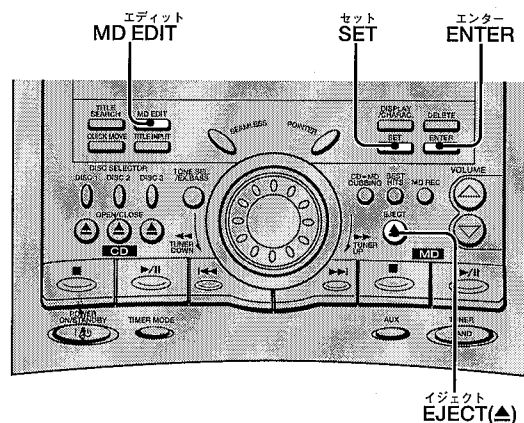
タイトル機能
タイトル変更・消去機能

→ 52

→ 54

ディバイド 曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。



MD停止(■)キーを押してください。

1 分割したい曲を再生する

- 録音中に、MD EDITキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。
- 再生中、一時停止中にも編集できます。

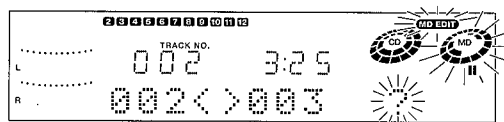
2 分割したいところまできたら、MD EDITキーを押して"DIVIDE"を選ぶ

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

3 SETキーを押す

押すたびに切り換わります。

- ① ディバイド ? :曲を分ける
- ② コンバイン ? :曲をつなぐ
- ③ *** イレース ? :1曲消去
- ④ 通常表示



次のページへ続く

4 ENTERキーで曲の分割を実行する

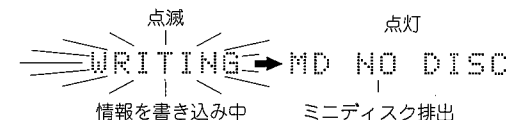
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から再生が始まります。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 分割する曲にタイトルが付けられていたり、録音日時が記録されているときは、2つの曲が同じタイトル名、および録音日時になります。

手順 1~4を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

5 EJECTキーを押して、情報をディスクに書き込む

エンターキーを押した後の表示

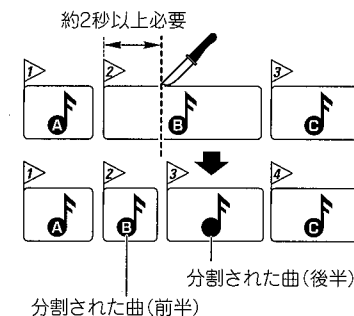
編集できたとき : COMPLETE! と表示
編集できなかったとき : CAN'T EDIT! と表示



ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。



曲を分割するイメージ



コンバイン 曲をつなぐ(COMBINE)

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

MD停止(■)キーを押してください。
停止状態でも再生状態でもできます。

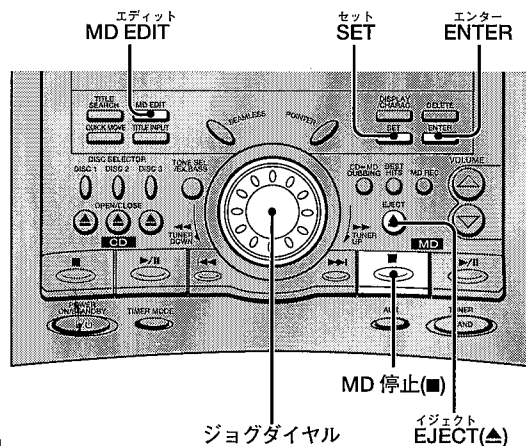
1 MD EDITキーを押して"COMBINE"を選ぶ

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。
- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、後半となる曲の再生中にMD EDITキーを押してください。(再生中の曲と、直前の曲がつながります。)
- 最初の曲の再生中では"COMBINE"を選べません。

2 SETキーを押す

この後、再生中に曲をつなぐ場合は、手順3へ

次のページへ続く



押すたびに切り換わります。

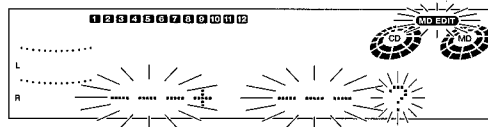
停止中

- ① MOVE ? : 曲順を1曲ずつ入れ換える
- ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ ALL ERASE ? : 全曲消去する
- ④ 通常表示

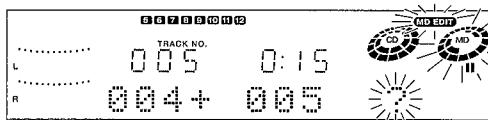
再生中

- ① DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ ***ERASE ? : 1曲消去
- ④ 通常表示

停止中：つなぐ曲を選ぶモードになります



再生中：5曲目を再生中(5曲目と4曲目をつなぐ場合)



3 ジョグダイヤルでつなぎたい曲(トラック番号)を決める

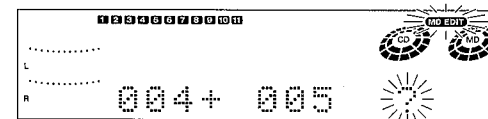
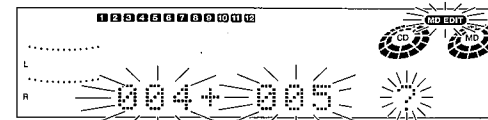
4 SETキーを押す

5 ENTERキーを押して曲と曲をつなげる

- 再生中に編集を始めた場合は、その曲から自動的に再生が始まります。

6 EJECTキーを押して、情報をディスクに書き込む

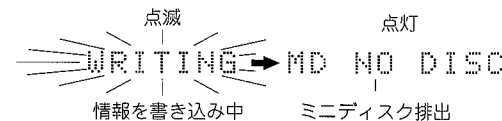
停止中：5曲目と4曲目をつなぐ場合の例



エンターキーを押した後の表示

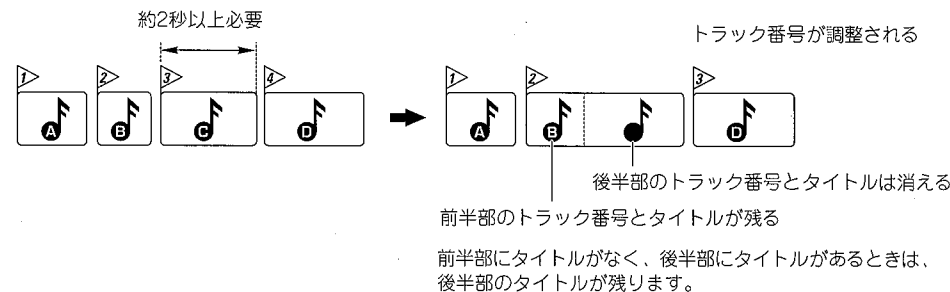
編集が終わったとき : COMPLETE! と表示
キャンセルエディット
編集できなかったとき : CAN'T EDIT! と表示

録音や編集を繰り返したディスクでは、MD規格の制限により、コンバイン機能が使えないことがあります。また、CDから録音した曲(デジタル録音)とラジオや他の機器から録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ



前半部にタイトルがなく、後半部にタイトルがあるときは、後半部のタイトルが残ります。

録音した内容を消す (ERASE)

2種類の方法があります。

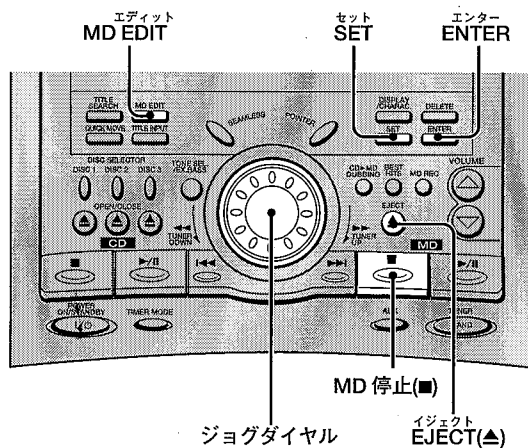
録音されているすべての内容を

一度に消す : ALL ERASE

1つのトラック(曲)だけを消す

: TRACK ERASE

消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。



MD停止(■)キーを押してください。

録音されているすべての内容を一度に消す (ALL ERASE)

1 停止状態であることを確認する

2 MD EDITキーで"ALL ERASE"を選ぶ

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。
- 再生中は再生している曲のみ消すことができます。

3 SETキーを押す

4 ENTERキーで消去を実行する

5 EJECTキーを押して、情報をディスクに書き込む

押すたびに切り換わります。

停止中

- | | | |
|---|------------|----------------|
| ① | ムーブ ? | : 曲順を1曲ずつ入れ換える |
| ② | コンバイン ? | : 曲をつなぐ |
| ③ | ALL ERASE? | : 全曲消去する |
| ④ | 通常表示 | |

エンターキーを押した後の表示

編集できたとき : COMPLETE! と表示
 編集できなかったとき : CAN'T EDIT! と表示



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

1つのトラック(曲)だけを消す (TRACK ERASE)

1 MD EDITキーで"ERASE"を選ぶ

- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。
- 再生中は再生している曲のみ消すことができます。

再生中に曲を消す場合は、この後手順 4 へ

2 ジョグダイヤルで"*** (消したいトラック番号) ERASE"を選ぶ

3 SETキーを押す

4 ENTERキーで消去を実行する

5 EJECTキーを押して、情報をディスクに書き込む

押すたびに切り換わります。

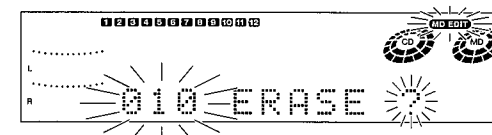
停止中

- | | |
|---|------------|
| ① | ムーブ ? |
| ② | コンバイン ? |
| ③ | ALL ERASE? |
| ④ | 通常表示 |

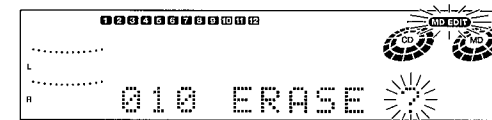
再生中

- | | |
|---|------------|
| ① | ディバイド ? |
| ② | コンバイン ? |
| ③ | ***ERASE ? |
| ④ | 通常表示 |

停止中：ジョグダイヤルでトラック番号10を選んだとき

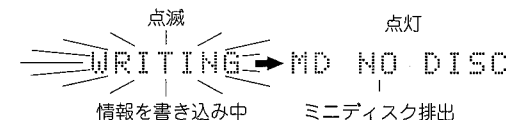


停止中：トラック番号10を消す確認



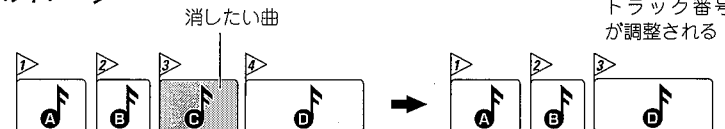
エンターキーを押した後の表示

編集できたとき : COMPLETE! と表示
 編集できなかったとき : CAN'T EDIT! と表示



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

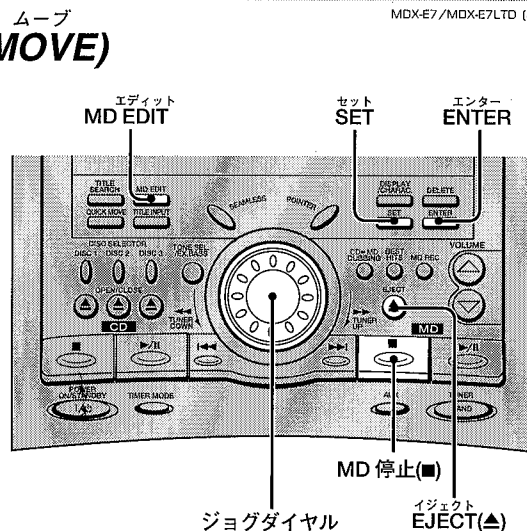
消したい曲のイメージ



トラック番号が調整される

曲順を1曲ずつ入れ換える (MOVE)

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。



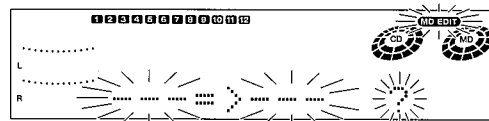
MD停止(■)キーを押して、停止状態にしてから行います。

1 MD EDITキーを押して"MOVE"を選ぶ

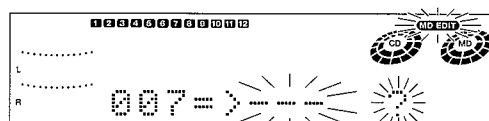
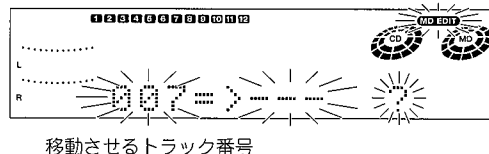
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

押すたびに切り換わります。

- 停止中
- ① MOVE ? : 曲順を1曲ずつ入れ換える
 - ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
 - ③ ALL ERASE ? : 全曲消去する
 - ④ 通常表示



トラック番号7を移動させるとき



2 SETキーを押す

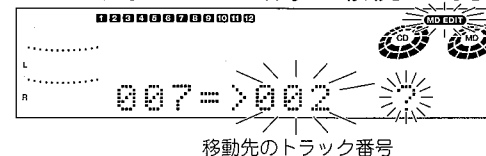
3 ジョグダイヤルで移動する曲(トラック番号)を選ぶ

4 SETキーを押して確定する

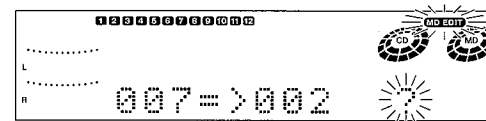
次ページに続く

5 ジョグダイヤルで選んだ曲(トラック番号) 移動先を決める

トラック番号7をトラック番号2に移動させるとき



6 SETキーを押して移動先を確定する

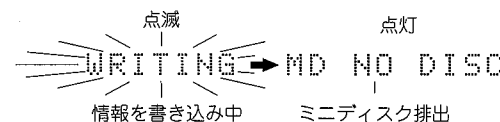


7 ENTERキーを押して曲順の入れ換えを実行する

ENTERキーを押した後の表示

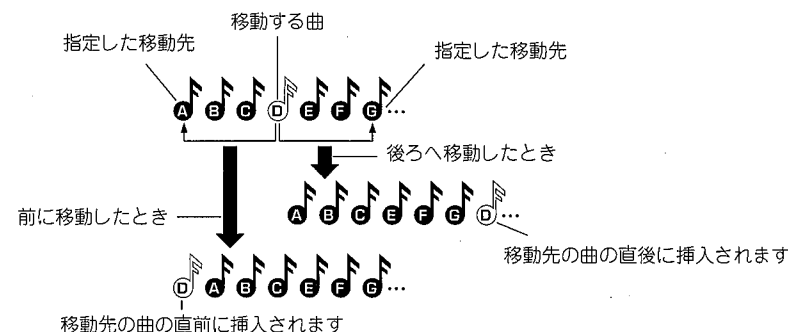
編集できたとき : COMPLETE! と表示
編集できなかったとき : CAN'T EDIT! と表示

8 EJECTキーを押して、情報をディスクに書き込む



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

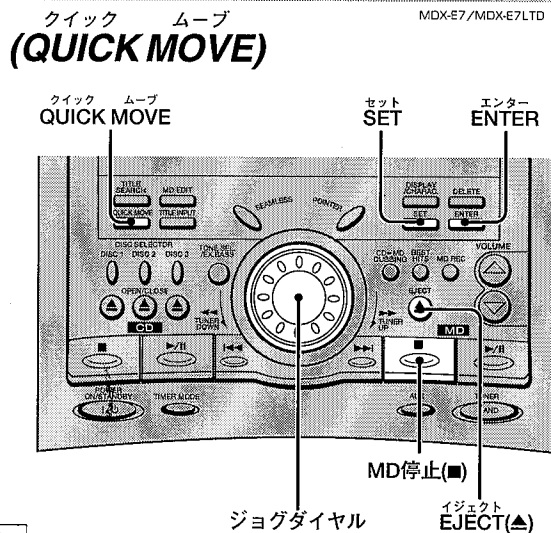
曲を移動するイメージ



曲順をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

1回の処理で入れ換えられるのは、連続する20曲の範囲です。

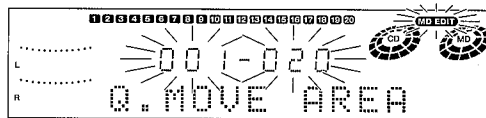
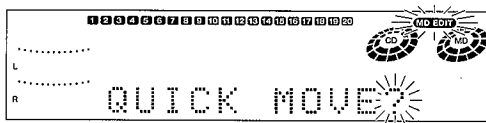


MD停止(■)キーを押して、停止状態にしてから行います。

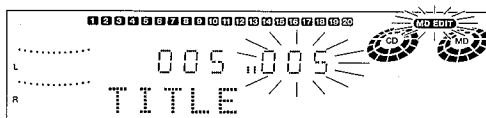
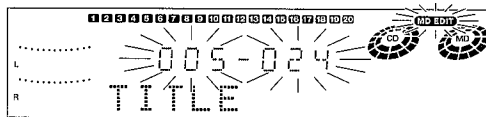
1 QUICK MOVE キーを押す

2 SET キーを押す

- 中止するときは、もう一度"QUICK MOVE"キーを押します。
- 途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



トラック番号5番から24番までの間の曲順を入れ換えるとき



4 SET キーを押して選んだ曲を確定する

次ページに続く

5 ジョグダイヤルで並べ換えたい曲(トラック番号)を選ぶ

6 SET キーを押して選んだ曲を確定する

7 手順5と6を繰り返して、希望の曲順に並べる

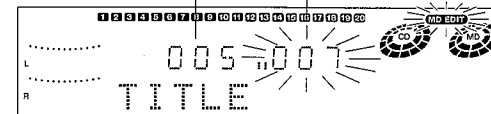
- MD REC キーで、選んだ曲順の確認ができます。
- DELETE キーを押すと、最後から順に一曲ずつ取消しができます。

8 ENTER キーを押して、曲順の入れ換えを実行する

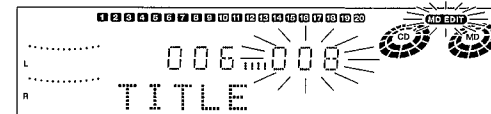
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 入れ換えの途中でENTERキーを押した場合、選ばなかった曲は、移動範囲の最後にそのままの曲順で移動します。
- "COMPLETE !"点灯中に、EJECT(▲)キーやPOWERキーを押すと、並べ換えが途中で中断されることがあります。

9 EJECT キーを押して、情報をディスクに書き込む

現在トラック番号7番の曲を5番に移動するとき
移動先のトラック番号 移動元のトラック番号

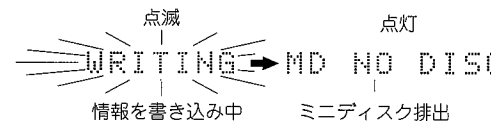


確認中の例(トラック番号7番が5番に移動中)



エンターキーを押した後の表示

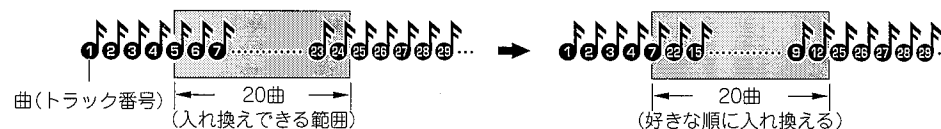
編集できたとき : COMPLETE! と表示
編集できなかったとき : CAN'T EDIT! と表示



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順の入れ換えイメージ

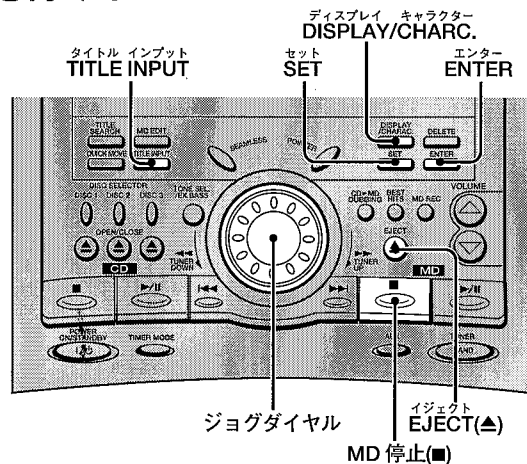
20曲の範囲の始まりを決める



ミニディスクや曲にタイトルを付ける

ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

ディスクタイトル：停止状態で行います
曲のタイトル：停止状態でも再生状態でもできます



MD停止(■)キーを押してください。

1 タイトル インプット キーを押す

2 ジョグダイヤルを回して、ディスクタイトルかトラックタイトルを選ぶ

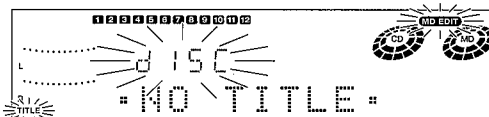
- 再生中の曲のタイトル入力の際は、1曲リピートモードになります。

3 セット キーを押して確定する

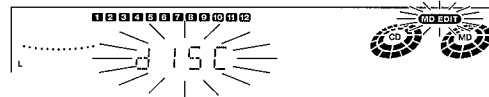
- 中止するときは、もう一度 **TITLE INPUT** キーを押します。
- ミニディスクから情報を読み込むため、少し時間がかかります。

4 ディスプレイ キャラクター DISPLAY / CHARG. キーを押して、文字グループを選ぶ

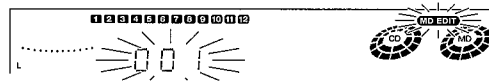
- ◀▶キーで、カーソルを左右に移動できます。



ディスクタイトルのとき："dISC"を選びます。



トラックタイトルのとき：目的のトラック番号を選びます。



次のような種類の文字や数字、記号が選べます。
DISPLAY/CHARC. キーを何回か押して、目的の文字グループの表示にします。

- A～Z と、スペース(1文字分の空白)
- a～z と、スペース
- 0～9 と、各種記号
- カタカナと、スペース

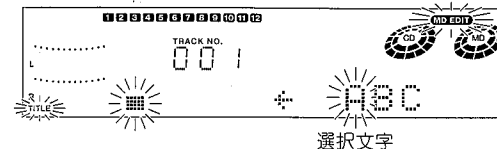
各種記号の選択について

次の各種記号を選ぶことができます。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@_`

次ページに続く

5 ジョグダイヤル回して、文字を選ぶ



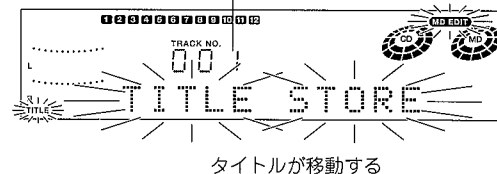
6 セット キーを押して、選んだ文字を確定する



7 手順 4～6 を繰り返して、タイトルを入力していく

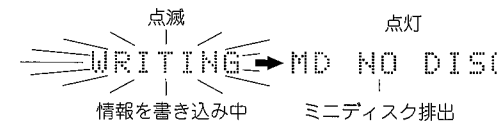
8 エンター キーを押して、入力したタイトルを確定する

ディスクタイトルのときは、"dISC"の表示になります



9 タイトル インプット キーを押す

10 イジェクト キーを押して、情報をディスクに書き込む

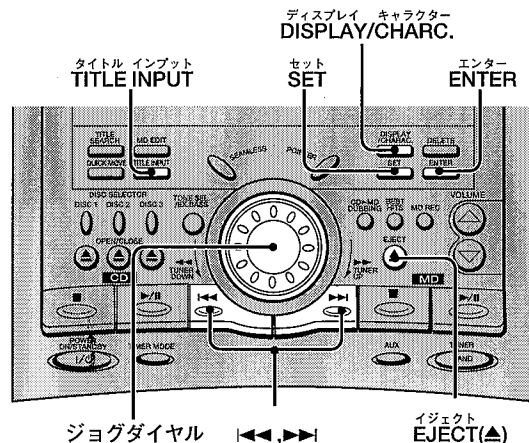


ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合) カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータが必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。

タイトルを変更、消去する

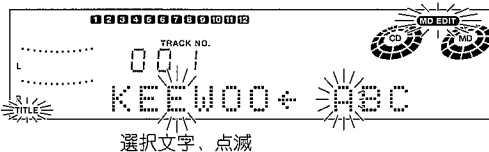


1 "ミニディスクや曲にタイトルを付ける" の、手順 **1** ~ **3** まで行なう - [52]

2 ◀◀ または ▶▶ キーでカーソルを目的の(変更する)文字に合わせる

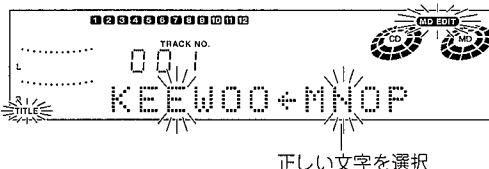
- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀ ▶▶ キーを押していくと表示が移動し、それまで表示されていなかった部分が現われます。
- 目的の文字を消したいときは、**DELETE** キーを押します。

3 **DISPLAY/CHARC.** キーを押して、文字グループを選ぶ



次のような種類の文字や数字、記号が選べます。
DISPLAY/CHARC. キーを何回か押して、目的の文字グループの表示にします。

- A~Z と、スペース(1文字分の空白)
- a~z と、スペース
- 0~9 と、各種記号
- カタカナと、スペース



4 ジョグダイヤルを回して、正しい文字を選ぶ

- 表示が移動して、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。

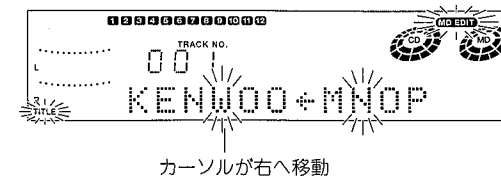
次ページに続く

5 **SET** キーを押す

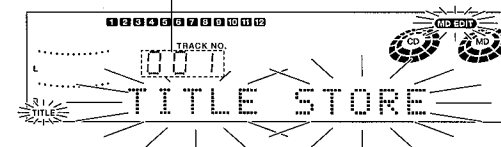
手順 **2** ~ **4** の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

- カーソルには2種類あり、カーソルの種類によって文字の入力のしかたが異なります。カーソルの種類は**TITLE SEARCH** キーで換えることができます。詳しくは、"キー機能について"を参照してください。

6 **ENTER** キーを押して、入力したタイトルを確定する

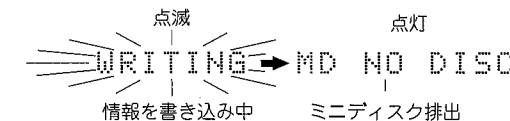


ディスクタイトルのときは、
"disc"の表示になります



7 **TITLE INPUT** キーを押す

8 **EJECT** キーを押して、情報をディスクに書き込む



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

キー機能について

◀◀▶▶キー:

カーソルを送ることができます。

DISPLAY/CHARC. キー:

文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

DELETE キー:

カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または 押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。

TITLE SEARCH キー:

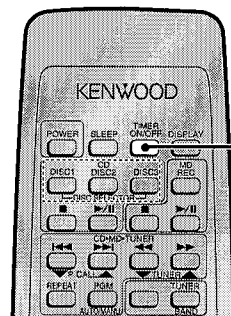
カーソルの種類を切り換えます。

カーソルが (下半分のみ) のとき: 入力する文字はカーソルのある文字の前に入ります。

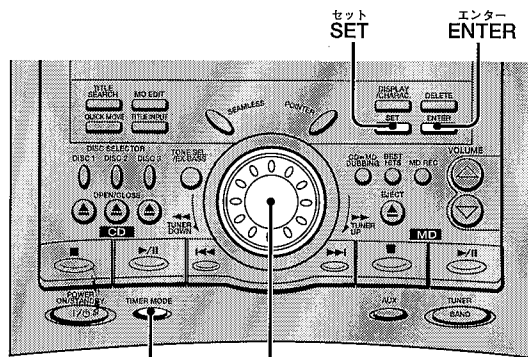
カーソルが のとき: カーソルのある文字が新しく入力する文字に書き換えられます。

音楽で目覚める

タイマーを設定しておく、お好みの音楽ソース(MD、CD、ラジオなど)を再生させることができます。



タイマー
ON/OFF



タイマー
TIMER MODE

ジョグダイヤル

日付と時刻合わせを済ませてから、行なってください。
電源がオフの状態で行なってください。

1 聴くための準備をする (準備は電源がオンの状態でおこないます)

CDを聴く

ディスクを入れる
(プログラム再生は
できません。)-20

MDを聴く

ディスクを入れる
-22

ラジオを聴く

放送局をプリセット
しておく -28

AUXを聴く
(AUX 端子に接続した機器)

機器の電源をオンにしておく、
またはタイマーを設定する
-29

2 電源をオフにして、TIMER MODE キーを押す

- 途中で20秒以上放置すると、設定中のタイマーモードが解除されます。

3 ジョグダイヤルで "TIMER PLAY?" を選ぶ

- 日付と時刻合わせをしていないと選ばません。

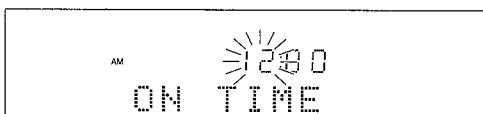
4 SETキーを2回押す

- 一度目は確認モードです。以前設定した内容がある場合はその内容が表示されます。変更する場合は、3秒以内にう一度キーを押してください。

次のページへ続く

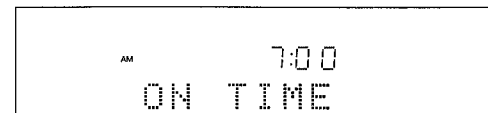
ジョグダイヤルを回すと次のように切り換わります。

- ① **TIMER PLAY ?** : タイマー再生
- ② **TIMER REC ?** : タイマー録音
- ③ **DATE DISP. ?** : 日付表示の切り換え
- ④ **CLOCK SET ?** : 日付と時刻あわせ



SETキーを2度押すとオン時刻の"時"の部分が点滅を始めます。

再生を始める時間と止める時間が同じときは、タイマーの設定はできません。

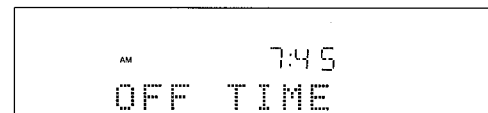


5 ジョグダイヤルで再生を始める時間の "時" の部分を決めて、SET キーを押す

6 手順5と同様に"分"の部分を決めて、 SETキーを押す

7 ジョグダイヤルで再生を止める時間の "時" の部分を決めて、SET キーを押す

8 手順7と同様に"分"の部分を決めて、 SETキーを押す

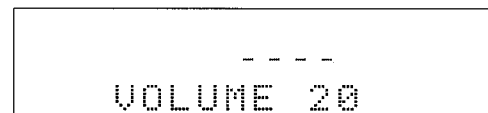


9 ジョグダイヤルで再生したい音源を 選んでSET キーを押す

TUNER (ラジオ) 以外を選んだときは、この後
手順10へ

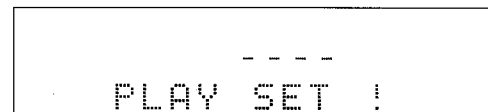
10 ジョグダイヤルでプリセットチャンネル を選んでSETキーを押す

11 ジョグダイヤルでボリューム(音量)の 設定をする



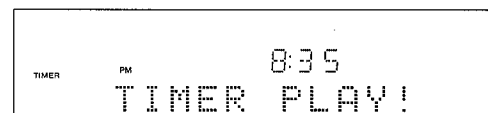
12 ENTERキーを押す

- すでに予約されているときは、新しい設定内容に変わります。



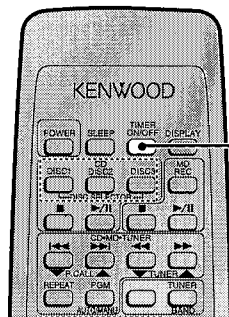
13 リモコンのTIMER ON/OFFキーを押 して、"TIMER PLAY!" を表示させる

- タイマーが正しく設定されていないと、"NO TIMER" が表示されます。

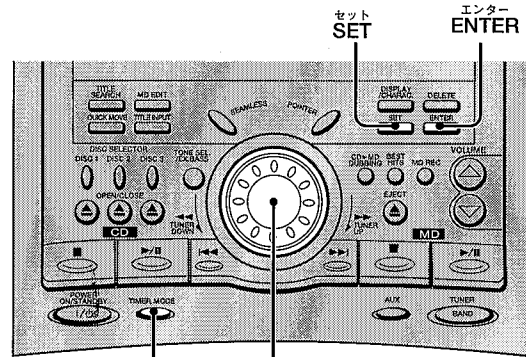


タイマーでラジオを録音する

お出かけ中に放送される放送番組を録音することができます。



タイマー
オン オフ
ON/OFF



タイマー モード
TIMER MODE
ジョグダイヤル

日付と時刻合わせを済ませてから、行なってください。
電源がオフの状態で行なってください。

- 1** 録音するための準備をする (準備は電源がオンの状態で行ないます)

放送局をプリセットしておく



- 2** 電源をオフにして、**TIMER MODE** キーを押す

- 途中で20秒以上放置すると、設定中のタイマーモードが解除されます。

- 3** ジョグダイヤルで "**TIMER REC ?**" を選ぶ

- 日付と時刻合わせをしていないと選べません。

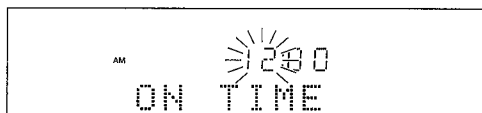
- 4** **SET** キーを2回押す

- 一度目は確認モードです。以前設定した内容がある場合はその内容が表示されます。変更する場合は、3秒以内にもう一度キーを押してください。

次のページへ続く

ジョグダイヤルを回すと次のように切り換わります。

- ① **TIMER PLAY ?** : タイマー再生
- ② **TIMER REC ?** : タイマー録音
- ③ **DATE DISP. ?** : 日付表示の切り換え
- ④ **CLOCK SET ?** : 日付と時刻合わせ



SETキーを2度押すとオン時刻の"時"の部分が点滅を始めます。

録音を始める時間と止める時間が同じときは、タイマーの設定はできません。

- 5** ジョグダイヤルで録音を始める時間の"時"の部分を決めて、**SET** キーを押す

- 6** 手順**5**と同様に"分"の部分を決めて、**SET** キーを押す

- 7** ジョグダイヤルで録音を止める時間の"時"の部分を決めて、**SET** キーを押す

- 8** 手順**7**と同様に"分"の部分を決めて、**SET** キーを押す

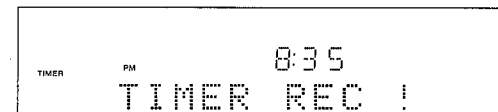
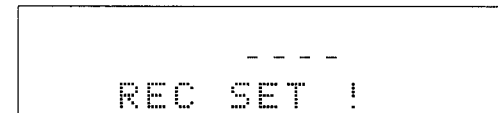
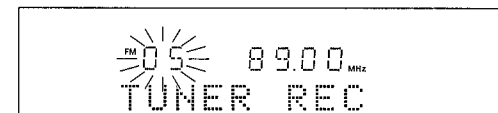
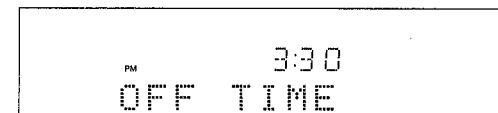
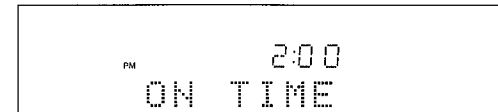
- 9** ジョグダイヤルで録音したい放送局のプリセットチャンネルを選ぶ

- 10** **ENTER** キーを押す

- タイマー録音のセットが完了します。
- すでに予約されているときは、新しい設定内容に変わります。

- 11** リモコンの**TIMER ON/OFF**キーを押して、"**TIMER REC !**"を表示させる

- タイマーが正しく設定されていないと、"**NO TIMER**"が表示されます。
- タイマー録音が始まると、音量は自動的に最小に設定されます。録音後も音量はこのままです。

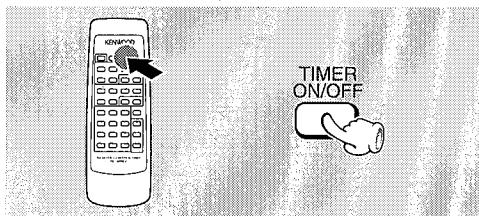


時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。→ 14
電源がオフになっていることを確認してください。

予約の内容を確認する

- ① タイマー モード **TIMER MODE**キーを押す
- ② ジョグダイヤルで確認したい内容を選ぶ
- ③ セット **SET**キーを1回押す
 - 予約内容を3秒ずつ表示していきます。そのあと、元に戻ります。

タイマーを働かせたくないとき

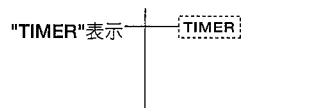


予約内容は、削除できません。内容を変更することにより、以前の内容が消されます。

予約内容を変更したいときは

それぞれのタイマー設定を始めからやり直してください。

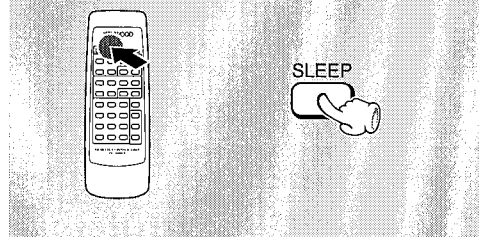
- "TIMER"表示を消灯させます。



- 予約内容は記憶しています。

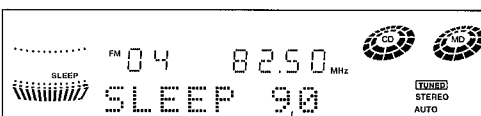
音楽を聴きながら眠る (SLEEP 機能)

- ① 電源をオンにする
- ② 聴きたい音楽の再生を始める
- ③ スリープ **SLEEP** キーを繰り返し押して、お好みのスリープ時間に設定する



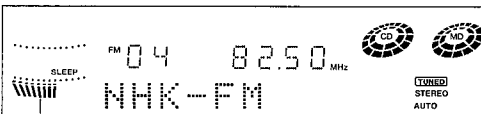
スリープ機能を解除するには

電源をオフにする、または **SLEEP** キーを "**SLEEP OFF**" の表示が出るまで繰り返し押します。



始めは90分に設定されています。

押すたびに次のように切り換わります
90 → 80 20 → 10 → SLEEP OFF → 90



インジケーターが少しずつ減っていきます

- スリープ機能が動作中にスリープ時間を変更すると、その時点でのスリープ時間に対して10分ごとに減っていきます。

例:スリープ時間が24分のとき
24 → 14 → 4 → SLEEP OFF → 90

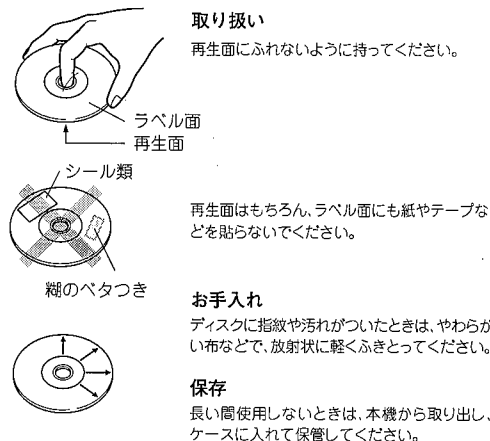
知っておきましょう

ディスクの取り扱いかた

本機で使えるディスクについて

CD (12cm、8cm)、およびCDVとCD-G (CDグラフィックス)の音声部分が再生できます。

ディスク取扱上のご注意



異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルCD、中古CDの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出した金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

CDアクセサリについて

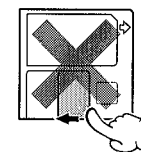
音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ミニディスクの取扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

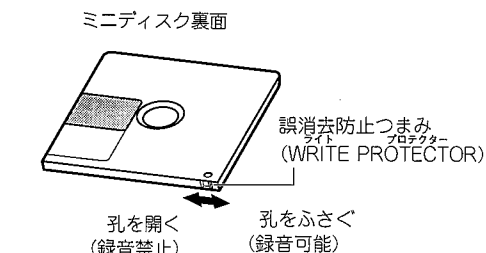
録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにディスクをセットから取り出し、ケースに入れて保管してください。



参考

結露にご注意


本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するとき、下記の操作を行ってください。

1. 電源をオンにします。
 2. イジェクト EJECTキーでCDとMDを取り出します。
 3. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
- 
4. 数秒間待って、電源をオフにします。
 5. 日付表示になってからコンセントを抜いてください。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜くと約14時間で消えるメモリーの内容	日付および時計表示
電源プラグをコンセントから抜いて約3日間で消えるメモリーの内容	アンプ部 POWERの状態(ONまたはOFF) 入力切換 バスやトレブルの値 エクストラバスの値 ボリュームの値 チューナー部 受信バンド 周波数 プリセット放送局 プログラムの設定内容

メンテナンス

本機のお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶぎします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

本機は、ドルビーラウドリズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく特許製品です。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ミニディスクMDシステムとは

ミニディスクシステムの特長をまとめると、次のようになります。

- ①CD(コンパクトディスク)と同様に、自由なところから再生できる。(ランダムアクセスが可能)
- ②カートリッジに入った直径64mmのディスクを使用する。
- ③2種類のディスクに対応する。(再生専用、録音→再生)
- ④高能率符号化技術を使って最大74分の録音、再生ができる。
- ⑤半導体メモリーを使った耐震技術。

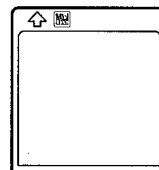


2種類のミニディスク

ミニディスクには、再生専用のものと、録音→再生のものの、2種類があります。

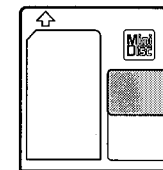
再生専用ミニディスク

再生のみが可能なミニディスクで、市販のミュージックMDソフトはこのタイプを使用しています。再生専用ミニディスクはコンパクトディスク(CD)と同じ光ディスクです。ピット(小さなくぼみ)の有り無しで記録されています。光学非接触ピックアップで信号を読み取ります。



録音用ミニディスク

録音が可能なミニディスクで、光磁気ディスクを使用、磁界変調方式で録音が可能になりました。光磁気ディスクの下面からレーザー光を照射し、ミニディスクの上面から磁界を印加して記録しています。



高能率符号化技術 "ATRAC"

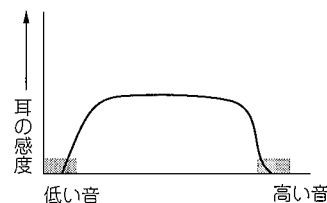
ミニディスクは、従来のコンパクトディスクの約半分のサイズですが、同じ時間記録することができます。それは新しく開発された*高能率符号化技術によって可能となりました。

アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング

*高能率符号化技術: ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

ATRACとは、聴感上問題のない音の成分をカットして、音楽データを従来の約1/5にしています。このことにより、最大74分の録音、再生が可能になりました。

耳の感度に達しない音



低い音や高い音は、ある程度の音量がないと聞き取れない。

大きな音の近くの小さな音



大きな音と同時に小さな音があっても、人間の耳には聞こえない。

(マスキング効果)

次ページに続く

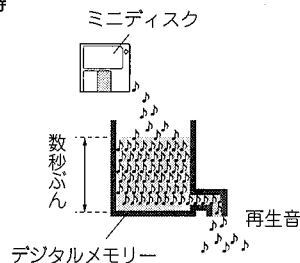
ミニディスク MDシステムとは (つづき)

音とび防止メモリー

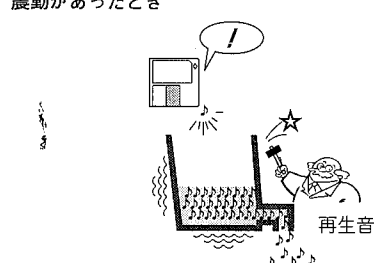
本機では、震動で音が飛ばないように信号を一度メモリーに蓄えています。したがって、震動等で光学ピックアップからのデータが途切れても、メモリーには数秒間のデータがあるので音楽が途切れたりすることはありません。

通常再生時

震動があったとき



再生中、音は数秒先のぶんまでメモリーに蓄えられています。



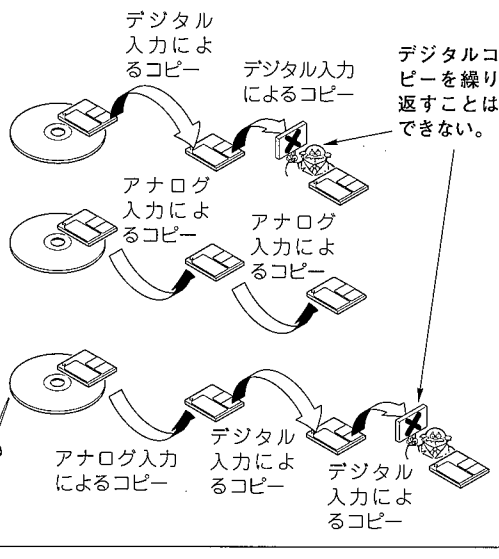
震動や衝撃を受けてディスクからの読みだしが途切れても、メモリーからの再生音は途切れません。

デジタル録音とSCMSについて

ミニディスクでは全てのソースに対してデジタル録音することはできません。次の場合は、デジタル録音できませんので注意してください。

コピー禁止コードが付いているとき。(シリアルコピーマネージメントシステム...SCMS)

SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)について
シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、右記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー 11F
東京オペラシティ郵便局 私書箱 2583号
電話 (03)5353-0336
FAX. (03)5353-0337

故障と思われる症状ですが . . .

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源プラグをコンセントから抜き、^{パワー}"POWER"キーを押しながら、差し込み直す。

●リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

アンプ・チューナー・スピーカー部

症 状	原 因	処 置	参照
音が出ない。	●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。	●適当な音量にする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。	→18 →19
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。	●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。	→14
タイマーが作動しない。	●現在時刻を合わせていない。停電があった。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定していない。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻が同じである。 ●タイマーの実行指定をしていない。	●"時刻合わせ"をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 ●タイマーのオフ時刻をオン時刻より遅い時間に設定する。 ●リモコンのTIMER ON/OFFキーで"TIMER"表示を点灯させる。	→14 →56 →56
放送局が受信できない。	●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。	●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。	→9 →26 →26
雑音が入る。	●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。	
プリセットしたあと、プリセットコールで受信できない。	●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●長い間、電源コードを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。	●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。	→27 →27

リモコン

症 状	原 因	処 置	参照
リモコンで操作できない。	●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする音源のCDまたはMDが入っていない。 ●録音中のMDで再生しようとしている。	●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。 ●CDまたはMDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。	→13 →13

CD部

症 状	原 因	処 置	参照
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 	→ 20 → 20
	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを取り換える。 ●"結露について"を参照し露を蒸発させる。 	→ 61 → 62
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが入っていない。 ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを入れる。 ●▶/III キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 	→ 20 → 20 → 61
	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクに傷がついている。 	●ディスクを取り換える。	
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。 	→ 61

CD部(メッセージ表示について)

症 状	原 因	処 置	参照
ERR ** (* *は数字)	●何らかのトラブルを示します。トラブルの内容によって、数字の部分が異なります。	●電源をいったんオフにして、再びオンにすると、通常の状態に戻ります。	

MD部(MD規格等の症状)

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●255曲以上(トラック番号255以上)は録音できません。(トラック番号255未満でも録音できないことがあります。)
	このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"0:00"になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイの録音可能時間表示は、"0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ●アナログ録音したトラックとデジタル録音したトラックはつなげません。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間(60分、74分)と一致しない。	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。

MD部(MD規格等の症状)

症 状	原 因
トラック(曲)番号が正しく付かない。	●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
リーディング "READING"が表示される時間が異常に長い。	●新品の録音用MD(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
モノラル長時間モードで録音されたディスクのとき、時間表示が不正確になる。	●モノラル長時間録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるため、故障ではありません。
タイトルが1792文字入らない。	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

MD部(その他の症状)

症 状	原 因	処 置	参照
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ミニディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 	→ 22
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●AUX録音時の録音レベルが低い。 ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●入力切替がMDになっている。 ●録音時間が短かすぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なディスクに取り換える。 ●録音はできません。 ●入力レベルを調節する。 ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●入力切換を録音したいソースにする。 ●1秒以上のトラックを録音する。 	→ 61 → 64 → 29 → 30
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●アナログ録音時に録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●AUX機器の入力レベルを調節する。 ●再度録音をする。 	→ 29
雑音が大きい。	●外部の雑音を誘導している。	●電気器具、テレビなどから離す。	

MD部(メッセージ表示の一覧)

ディスプレイ表示	意味	処置	参照
MD NO DISC ノーマル ディスク	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。	→ 22
キャンスト コピー CAN'T COPY	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●録音できません。	→ 64
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●255曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには255曲以上録音できません。	
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。	→ 53
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。	
リーディング READING	●TOC *1情報を読んでいます。	●故障ではありません。	
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。	
ディスク エラー DISC ERROR または DISC ERR※※ (※は数字や記号)	●UTOC *2の内容が異常である。	●"ALL ERASE"を行う。それができないときは、ディスクを取り換えてください。	→ 46
キャンスト エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。	
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。	
プロテクト PROTECTED	●ミニディスクが録音禁止状態(WRITE PROTECT)になっている。	●録音可能状態(WRITE PROTECTを解除)にする。	→ 61
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。	→ 63
キャンスト レック CAN'T REC	●ディスクに傷があるため、録音が途切れる。	●他の録音用ディスクと取り換える。	
ノート オーディオ NOT AUDIO	●オーディオ用でないデータが記録されている。	●ディスクを取り換える、または他の曲を選ぶ。	
テンプ オーバー TEMP OVER	●温度が高くなりすぎた。	●本機の電源を切ってしばらく休ませる。	

トック テーブル オブ コンテンツ

*1 すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC(Table of Contents)という情報が記録されています。

TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。

*2 TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。

このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

放送局名リスト

1997年7月現在

放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道 AIR - G' エフエム・ノースウェーブ north wave
東北地方	エフエム青森 FMアオモリ エフエム岩手 FMイワテ エフエム仙台 FMセンダイ エフエム秋田 Co - much FM エフエム山形 FMヤマガタ エフエム福島 フクシマFM
関東地方	エフエム東京 TOKYO FM エフエムジャパン J - WAVE エフエムインターウェーブ InterFM 放送大学 ハウソウダイガク エフエム群馬 FMグンマ エフエム栃木 RADIO BERRY エフエム埼玉 NACK5 エフエムサウンド千葉 bayfm 横浜エフエム放送 Fm yokohama エフエム富士 FM - FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟 FMニイガタ 長野エフエム放送 FMナガノ 北日本放送 KNBラジオ 富山エフエム放送 FMトヤマ エフエム石川 FMイシカワ 福井エフエム放送 FMフクイ 静岡エフエム放送 K - MIX エフエム愛知 FM AICHI エフエム名古屋 ZIP - FM

放送局	表示名
近畿地方	三重エフエム放送 FMミエ エフエム京都 アルファStation エフエム滋賀 E - Radio エフエム大阪 fm osaka エフエムはちまに FM802 関西インターメディア FM CO・CO・LO 兵庫エフエムラジオ放送 Kiss - FM
中国・四国地方	エフエム山陰 V - air 広島エフエム放送 ヒロシマFM エフエム山口 FMヤマグチ エフエム徳島 FMトクシマ エフエム香川 FMカガワ エフエム愛媛 FMエヒメ エフエム高知 FMコウチ
九州・沖縄地方	エフエム福岡 FM FUKUOKA エフエム九州 CROSS FM エフエム佐賀 FMサガ エフエム長崎 FMナガサキ エフエム中九州 FMK エフエム大分 FM OITA エフエム宮崎 JOY - FM エフエム鹿児島 ミューFM エフエム沖縄 FM Okinawa NHK 第一放送 NHKラジオ1 FEN オキナワ FEN オキナワ

ア

アフターサービスについて	72
安全上のご注意	3
アンテナ	9
イレース機能	46
エクストラバス	19
エラーメッセージ	CD 66
	MD 68
オート選局	26
お手入れ	62
音質調整	19
音量	18

カ

曲順の並べ換え	36, 48, 50
クイックムーブ機能	50
繰り返し再生	38
コンバイン機能	44

サ

サーチ	CD 21
	MD 23
再生	CD 20
	MD 22
AUX(他の機器)	29
シームレス録音	35
時刻合わせ	14
自動選局	26
シリアルコピー	
マネージメントシステム	64
シンクロ録音	31
スキップ	CD 21
	MD 23
好きな曲から聴く	CD 21
	MD 22
スリープ機能	60
接続のしかた	9, 10

タ・ナ

タイトルサーチ	
(タイトルでさがす)	24
タイトルをつける	52
タイトルを変更・消去する	54
タイマー	56~60
ダイレクト選曲	CD 21
	MD 22
ディスクの取り扱いかた	61
ディバイド機能	42
電源	8, 10
電池	8, 13
トーンセレクター	19
時計合わせ	14
飛び越し再生	CD 21
	MD 23
トレブル	19

ハ

バス	19
早送り・早戻し	CD 21
	MD 23
日付表示の切り換え	16
日付を合わせる	14
付属品	8
プリセット	27, 28
プリセットコール	27, 28
プログラム再生	36
ベストヒット	
プログラム録音	40
ヘッドホン	10
編集	41~55
ポインター機能	32
放送局名表示	28
放送局名リスト	69
放送局 聴く	26
記憶させる	27, 28
他の機器 再生	29
接続	9, 10
保証	72

マ・ヤ

マニュアル選局	26
ミニディスクシステム	63
ムーブ機能	
トラックムーブ機能	48
クイックムーブ機能	50
目覚まし機能	
(音楽で目覚める)	56
輸送時のご注意	62

ラ・ワ

ラジオ 聴く	26
タイマー録音	58
リピート再生	38
録音	30, 39, 40
ワンタッチ	
エディット録音	39
ワンタッチ	
オペレーション機能	17

アルファベット順

ATRAC	63
COMBINE	44
DIVIDE	42
ERASE	46
EX.BASS	19
MOVE	
QUICK MOVE	50
TRACK MOVE	48
POINTER機能	32
SCMS	64
SEAMLESS録音	35
SLEEP機能	60



定格

CD部

読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
周波数特性	20 Hz~20 kHz, ± 1 dB
ワウ・フラッター (EIAJ)	
	測定限界以下 ($\pm 0.001\%$ W PEAK)
出力レベル/インピーダンス	1.2V/1.8k Ω (AUX OUT)

MD部

【規格】	
形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	
ATRAC (Adaptive	トランスフォーム アコースティック コーディング)

【A/Dコンバーター】	
A/Dコンバーター	ビットストリーム
サンプリング周波数	44.1kHz

周波数特性(再生時)	20 Hz ~ 20 kHz, ± 1 dB
SN比(再生時)	96dB 以上
ワウ・フラッター (EIAJ)	測定限界以下
総合ひずみ率 (EIAJ)	0.008%以下 (1kHz)
入力感度/インピーダンス	1.2V/24k Ω (AUX IN)
出力レベル/インピーダンス	1.2V/1.8k Ω (AUX OUT)

チューナー部

FMチューナー部	
受信周波数範囲	76 MHz~108 MHz
ステレオ セパレーション (1 kHz)	40 dB
出力レベル	600 mV/1.8 k Ω (AUX OUT)

AMチューナー部	
受信周波数範囲	531 kHz~1,629 kHz
出力レベル	250 mV/1.8 k Ω (AUX OUT)

アンプ部

実用最大出力	10 W+10 W (EIAJ 4 Ω)
--------	------------------------------

トーンコントロール特性	
BASS	± 10 dB (150 Hz)
TREBLE	± 9 dB (10 kHz)
EX.BASS	+10 dB (70 Hz)
入力感度/インピーダンス	
AUX LOW	400 mV / 24 k Ω
MID	200 mV / 24 k Ω
HIGH	100 mV / 24 k Ω

スピーカー部

ウーファー	100 mm コーン型, 4 Ω x 2
ツイーター	35 mm コーン型, 4 Ω x 2

電源部・その他

電源電圧・電源周波数	AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示)	38 W
最大外形寸法	
幅	570 mm
高さ	219 mm
奥行	296 mm
質量 (重量)	8.0 kg (正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(摂氏0度以下)の場所では、十分に性能を発揮できないことがあります。